

平成28年度 浜松地区 感染対策地域連携を考える会
2017年2月22日

浜松地区 耐性菌サーベイランス報告

浜松医科大学医学部附属病院 感染対策室

概要

- 平成19年4月に施行された改正医療法により、すべての医療機関において管理者の責任の下で院内感染対策のための体制の確保が義務化されました。
- 本サーベイランスは、静岡県浜松地区（浜松市・湖西市）における薬剤耐性菌の分離状況や薬剤感受性の状況を調査し、各医療機関における院内感染対策に有用な情報の還元等を行うことを目的としています。

公開情報

- 微生物検査により各種検体から検出される、薬剤耐性菌における分離状況および特定菌種の薬剤感受性率を継続的に集計・解析し、全参加医療機関のデータをまとめて公開します。

サーベイランス実施体制

- 浜松医科大学医学部附属病院感染対策室は、参加医療機関（感染防止対策加算1・2算定施設）の検査システム等から抽出されたデータを集計し、解析評価を加えた情報を定期的（年1回）に還元します。
- 本サーベイランスによって収集されたデータは、医療機関における院内感染対策を支援する等の目的以外には使用しません。

耐性菌サーベイランス調査内容

- 対象とする薬剤耐性菌

 - メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）

 - 基質拡張型 β -ラクタマーゼ（ESBL）産生菌

 - Escherichia coli*、*Klebsiella pneumoniae*、*Proteus mirabilis*

 - 多剤耐性緑膿菌（MDRP）

 - 多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）

 - カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）

- 特定菌種の薬剤感受性率

 - Pseudomonas aeruginosa*

 - Acinetobacter* spp.

 - Haemophilus influenzae*

 - Streptococcus pneumoniae*

耐性菌サーベイランスの参加施設(23施設)

加算 1	加算 2
JA静岡厚生連 遠州病院	引佐赤十字病院
国立病院機構 天竜病院	佐久間病院
聖隷三方原病院	十全記念病院
聖隷浜松病院	市立湖西病院
浜松医科大学医学部附属病院	神経科浜松病院
浜松医療センター	すずかけセントラル病院
浜松赤十字病院	天竜すずかけ病院
浜松労災病院	浜名病院
	浜松北病院
	浜松市リハビリテーション病院
	浜松南病院
	北斗わかば病院
	松田病院
	丸山病院
	三方原病院

MRSAの検出状況

調査対象

期間

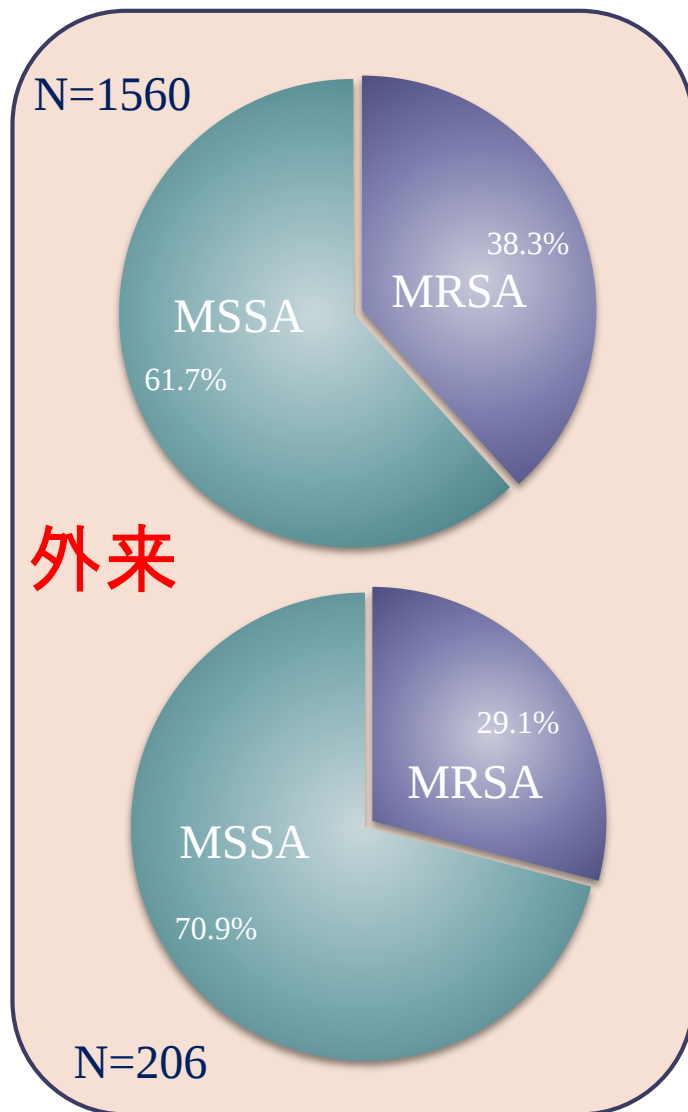
加算 1 : 2012年1月～2016年12月の5年間

加算 2 : 2014年1月～2016年12月の3年間

分離株

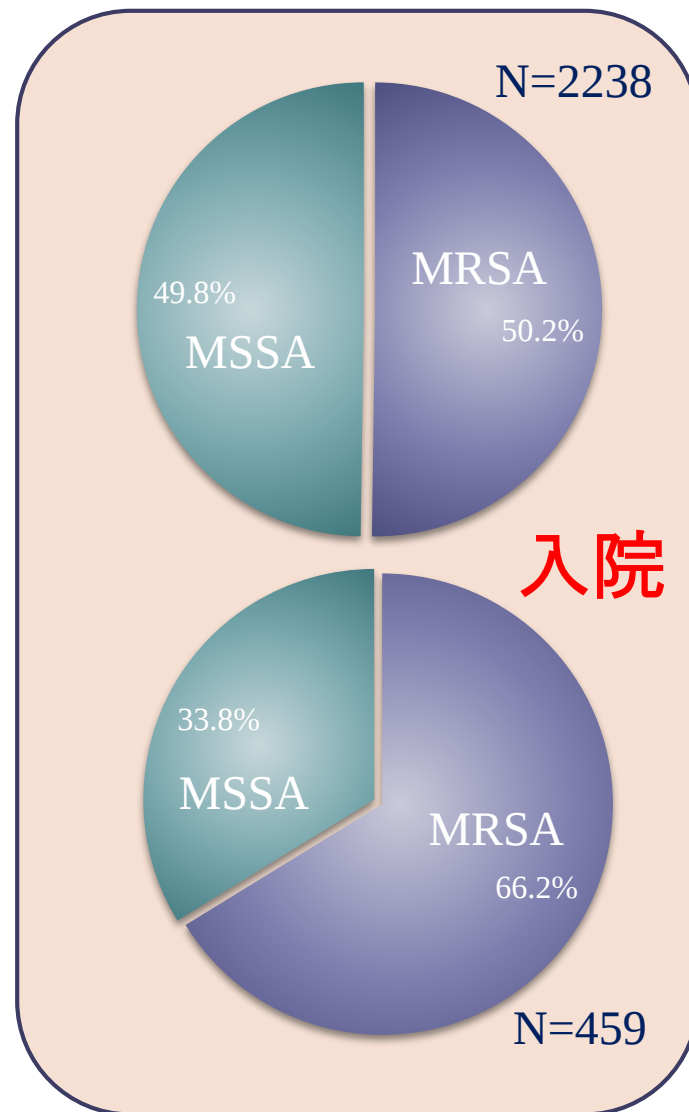
入院と外来を区別し1患者1株として集計

MRSAの分離比率 2016年

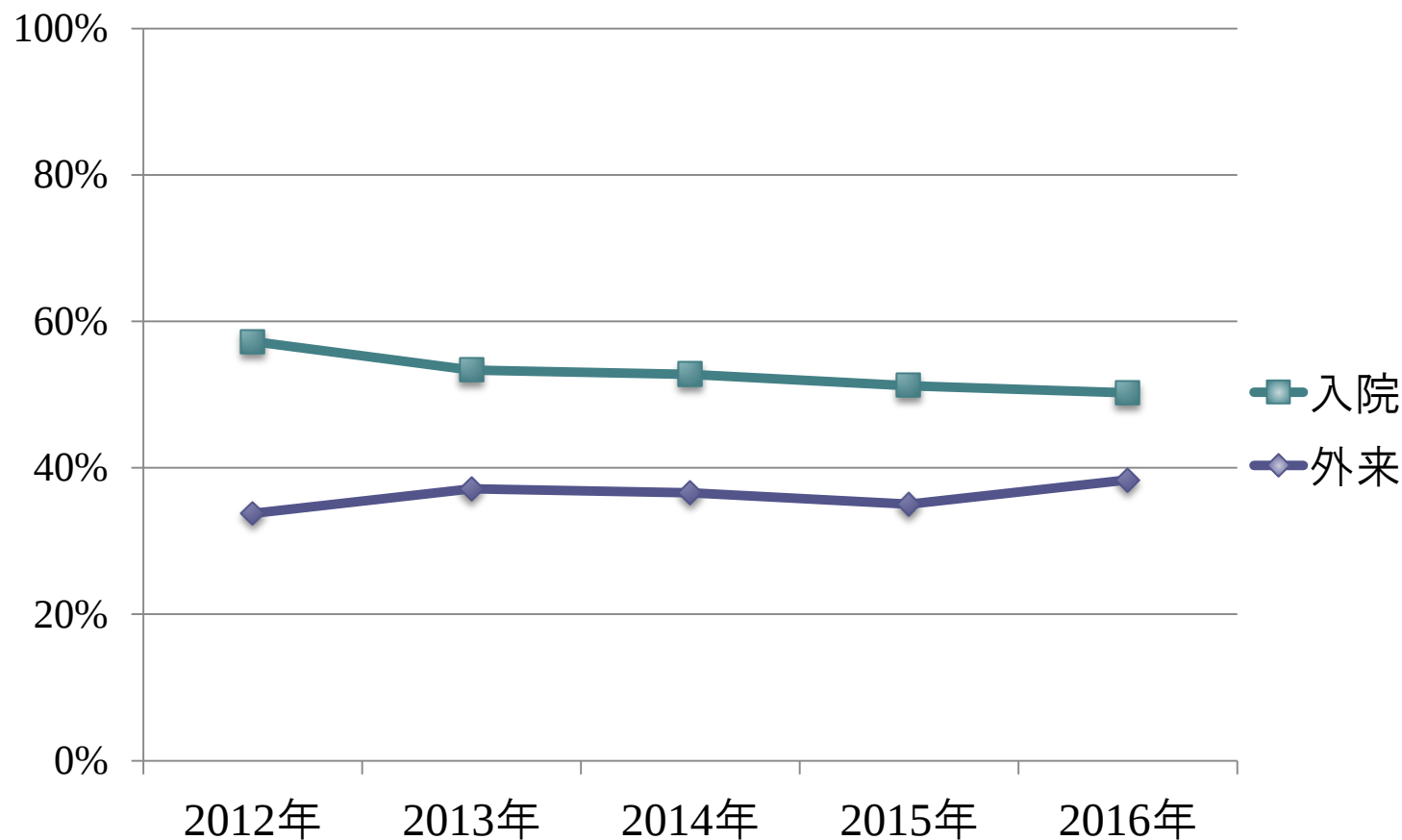


加算1

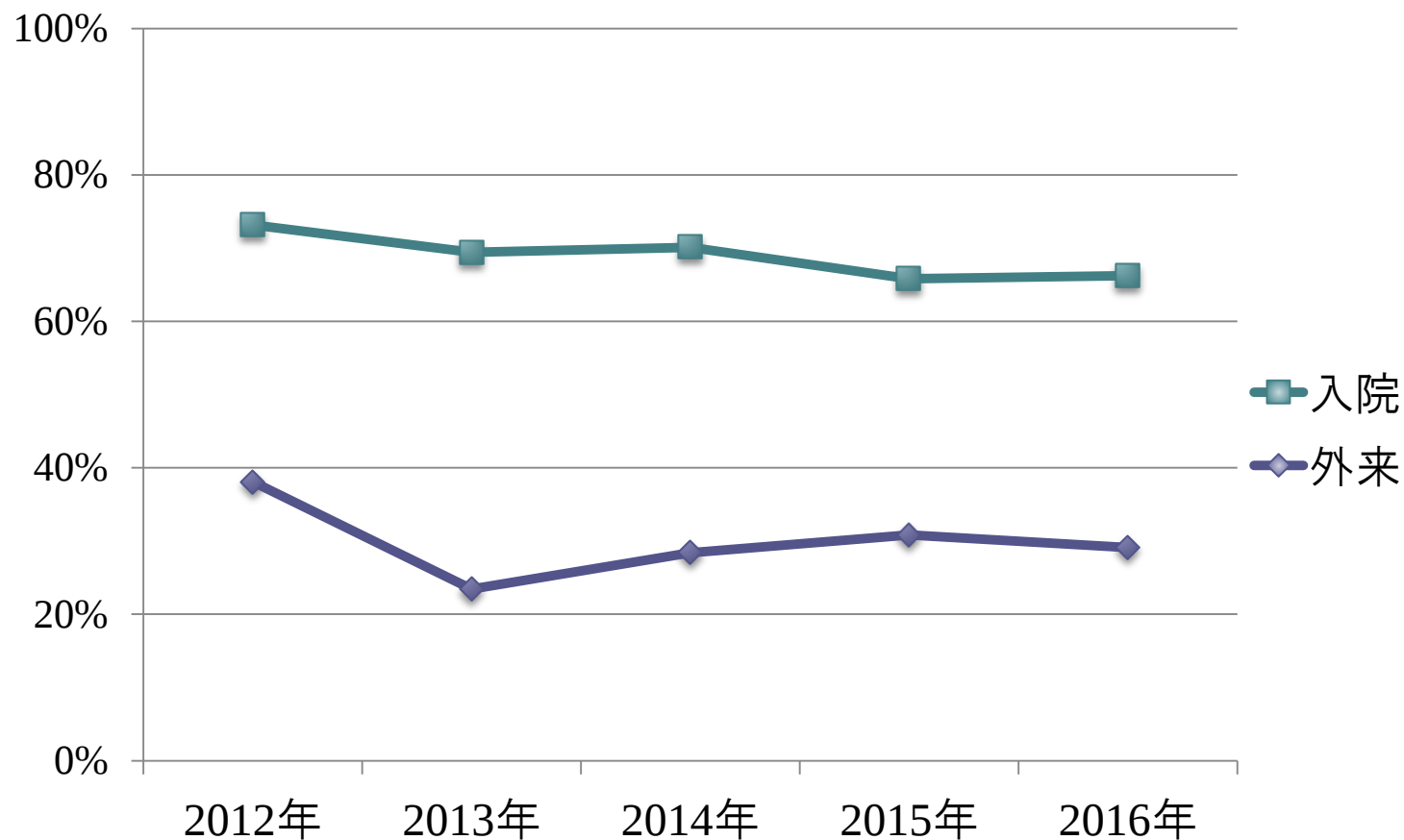
加算2



MRSA分離率の年次推移(加算1)

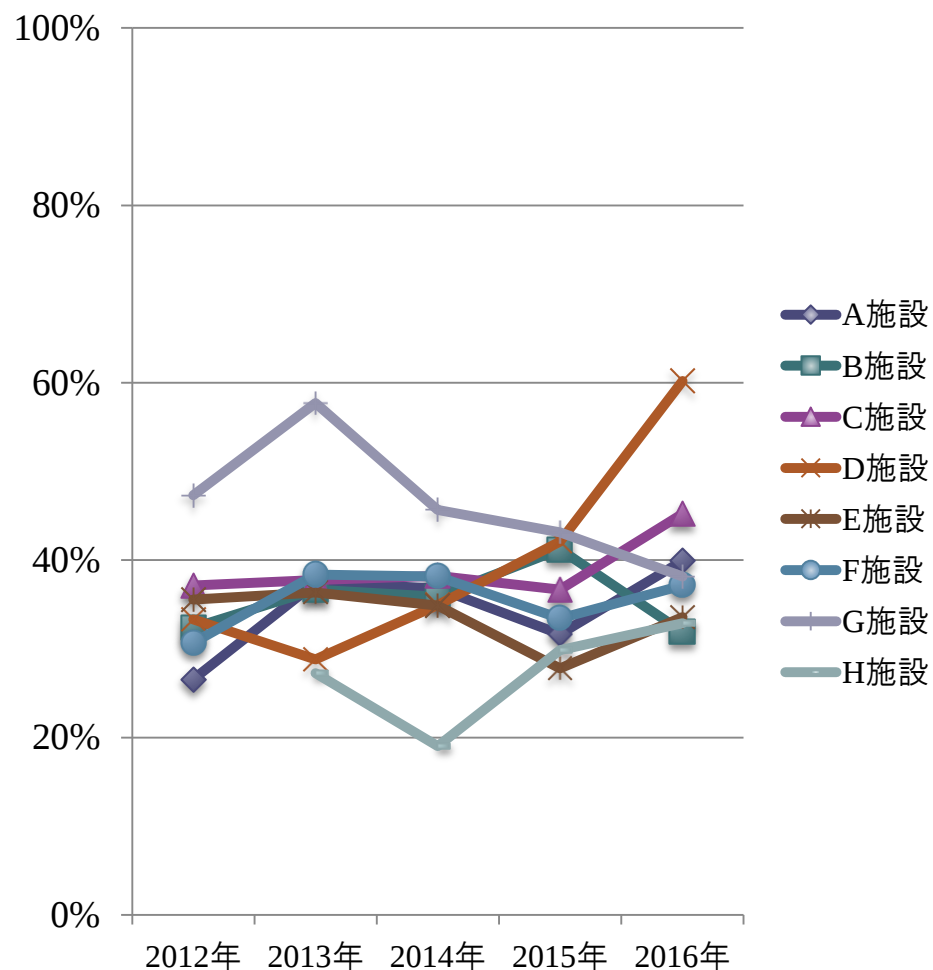


MRSA分離率の年次推移(加算2)

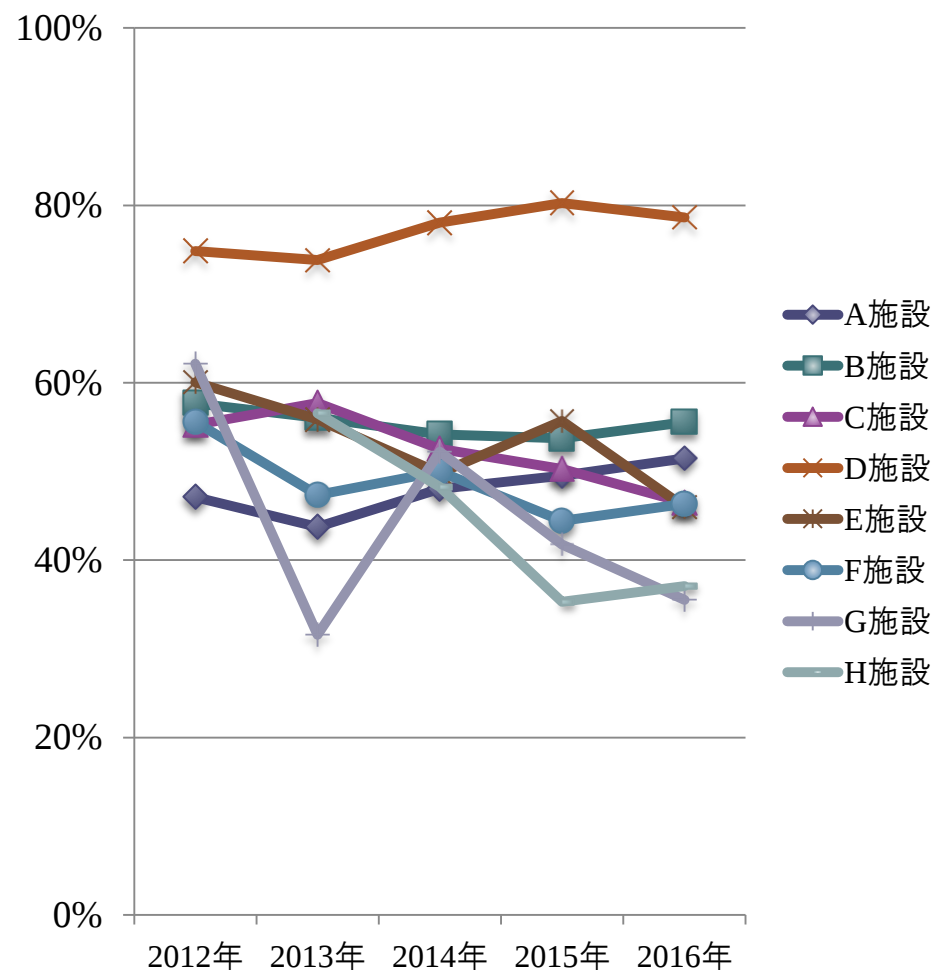


MRSAの分離比率(加算1)

外来

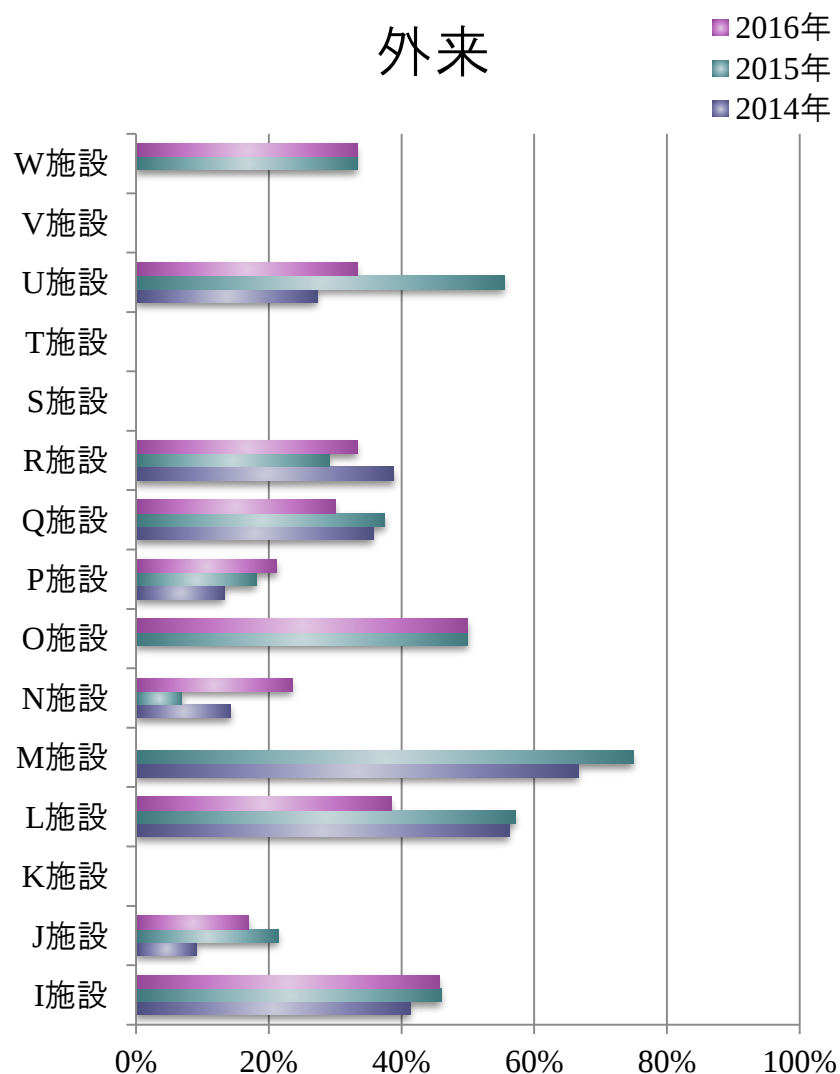


入院

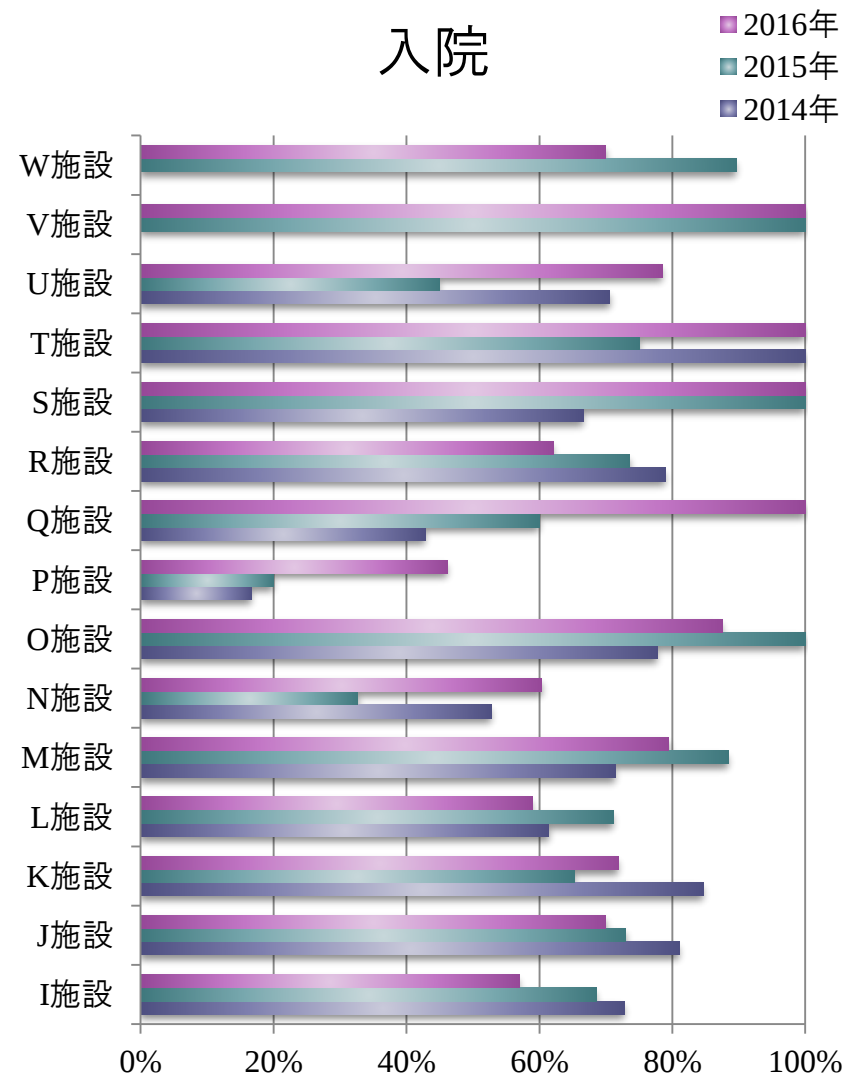


MRSAの分離比率(加算2)

外来



入院



ESBL産生菌の検出状況

調査対象

期間

加算 1 : 2012年1月～2016年12月の5年間

加算 2 : 2014年1月～2016年12月の3年間

分離株

1患者1株として全患者（外来・入院）を対象

対象菌種

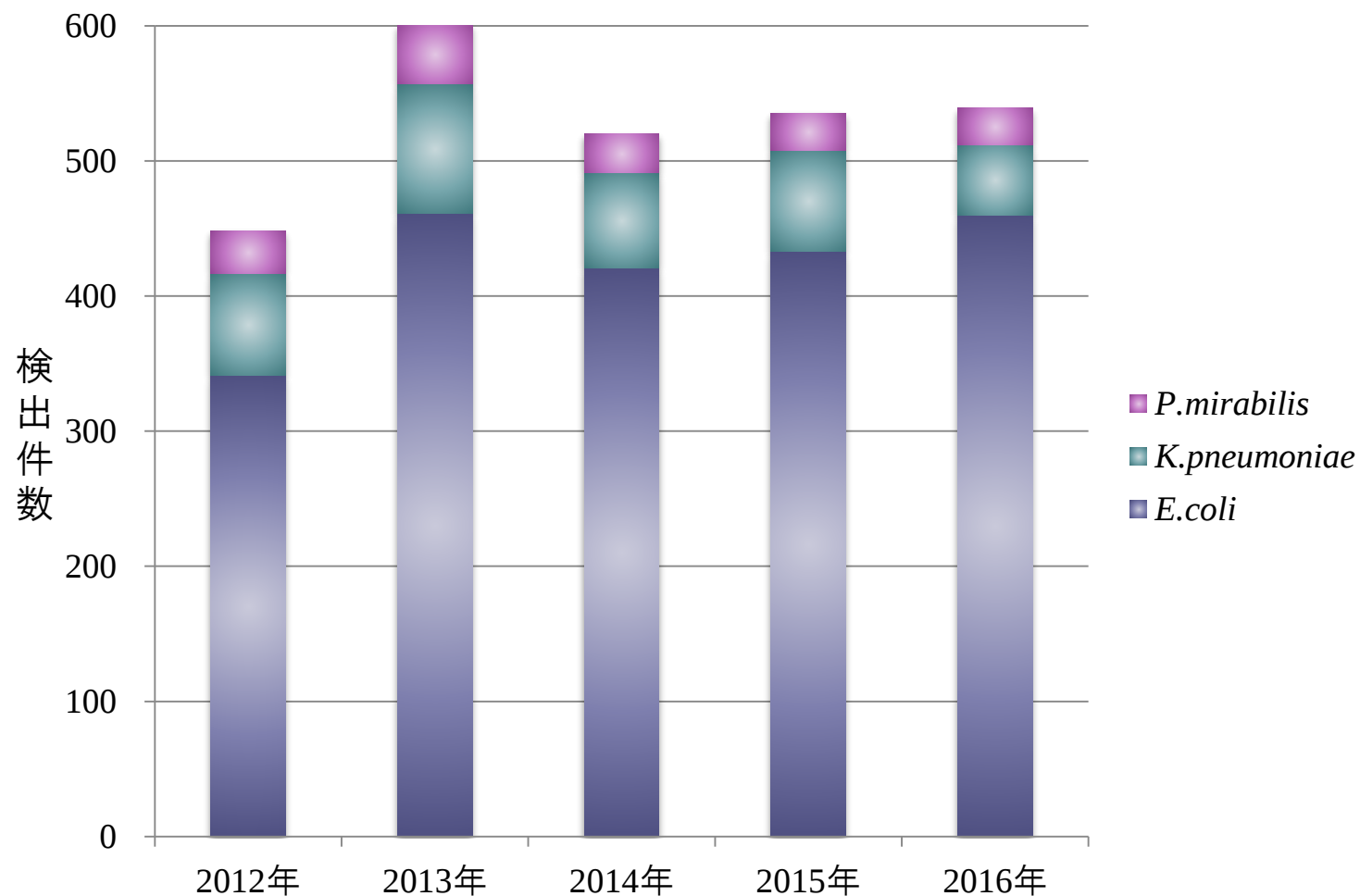
Escherichia coli

Klebsiella pneumoniae

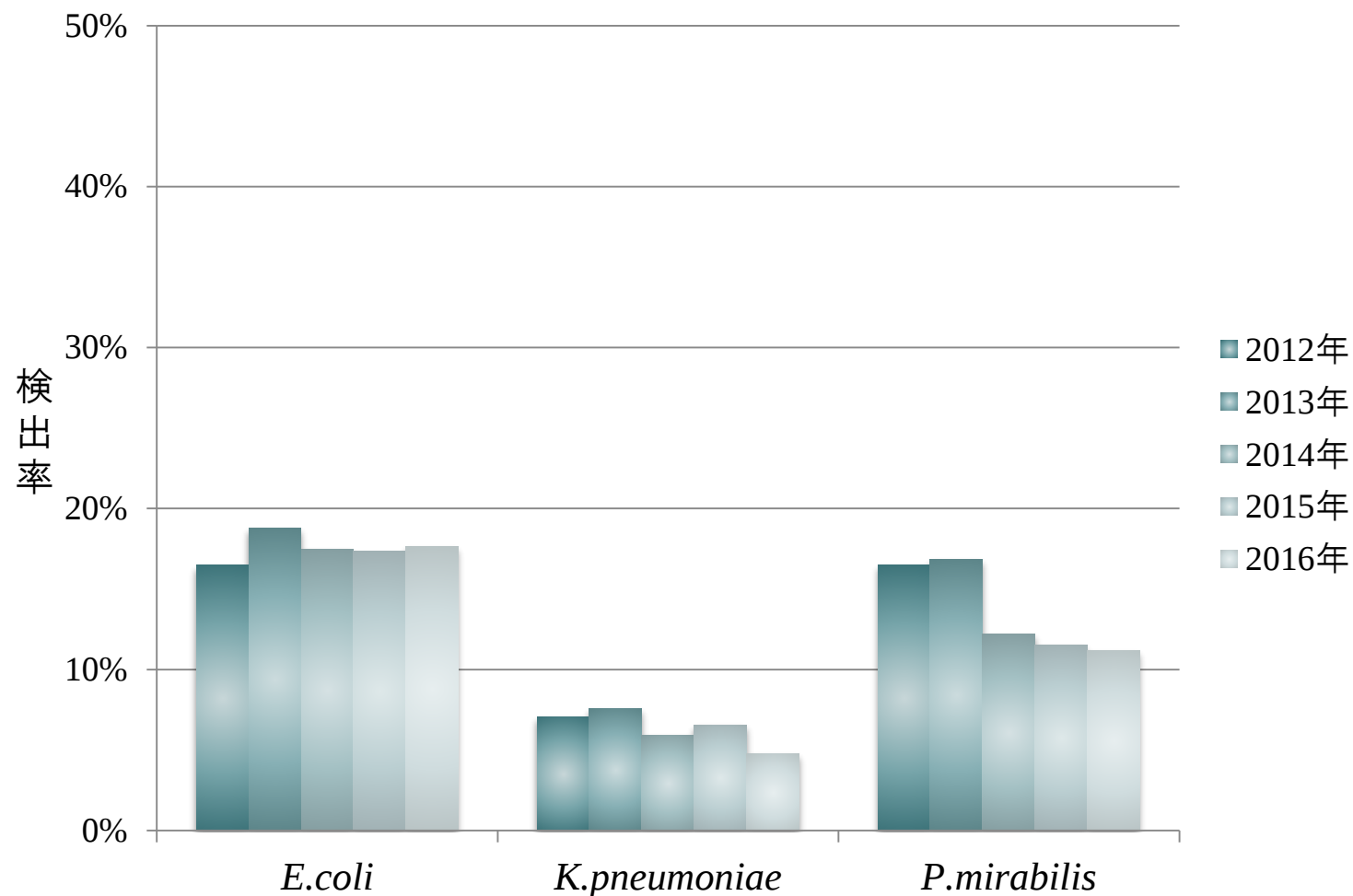
Proteus mirabilis

の3菌種

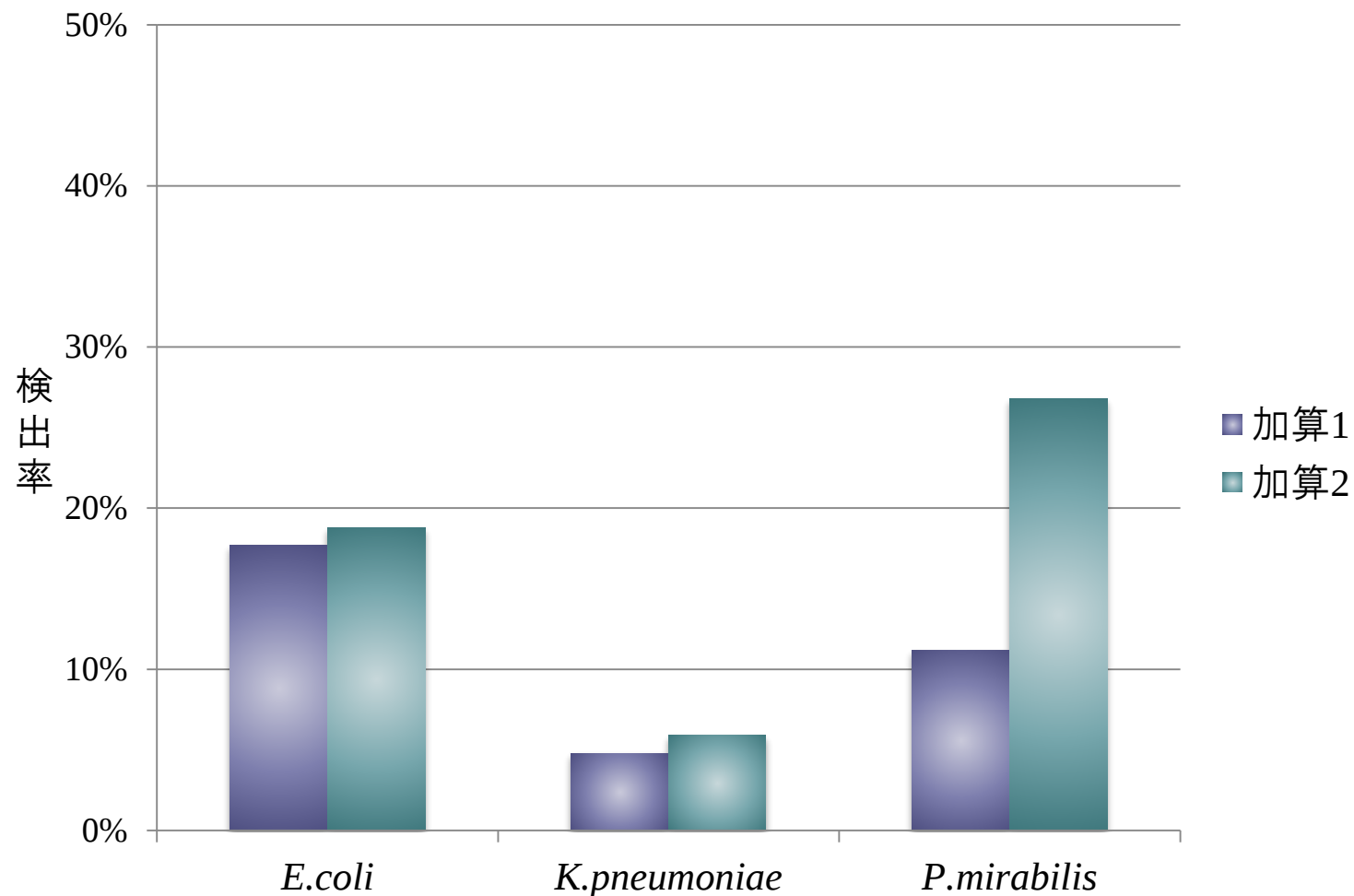
ESBL産生菌の検出件数(加算1)



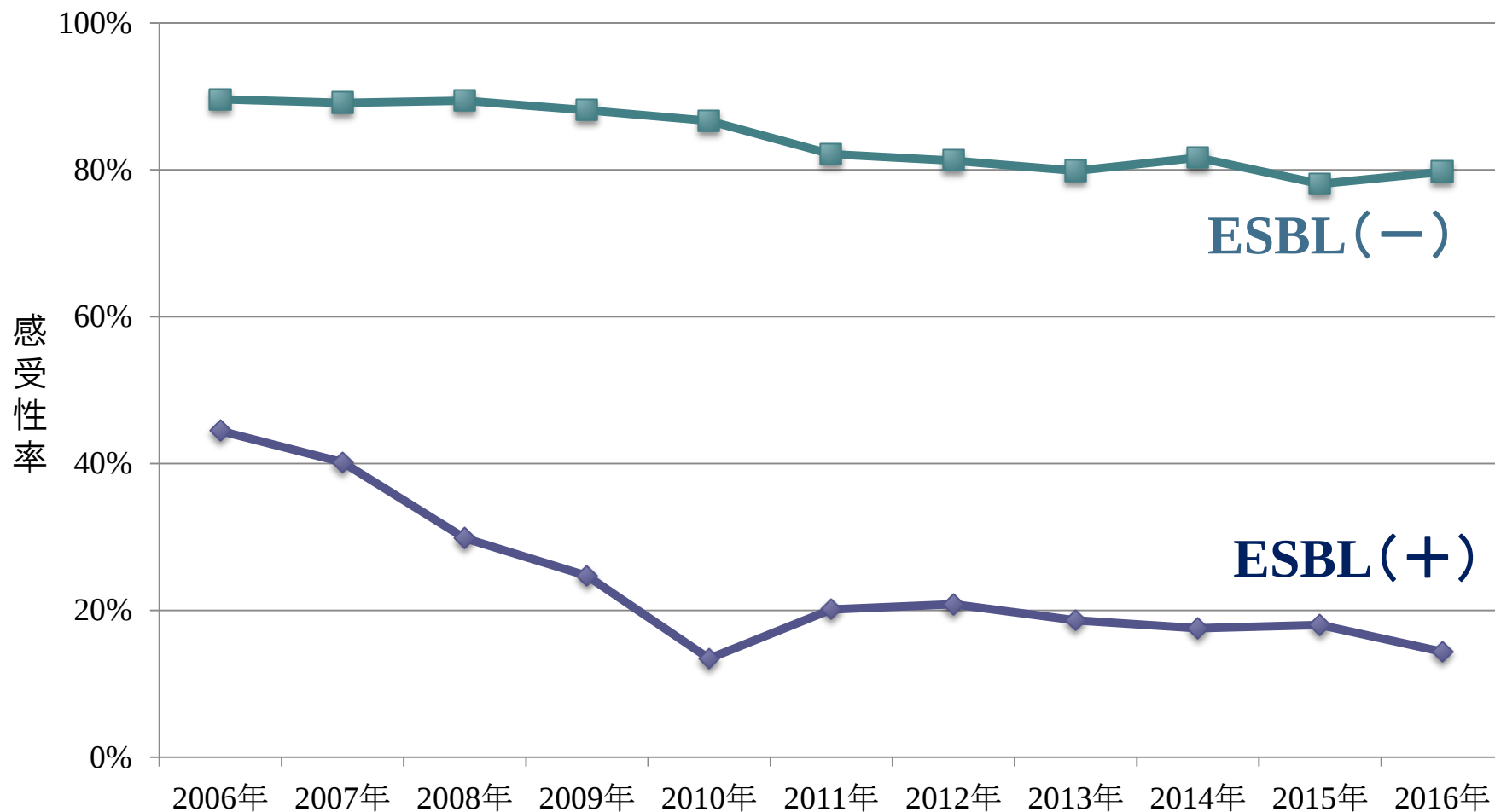
ESBL産生菌の検出率(加算1)



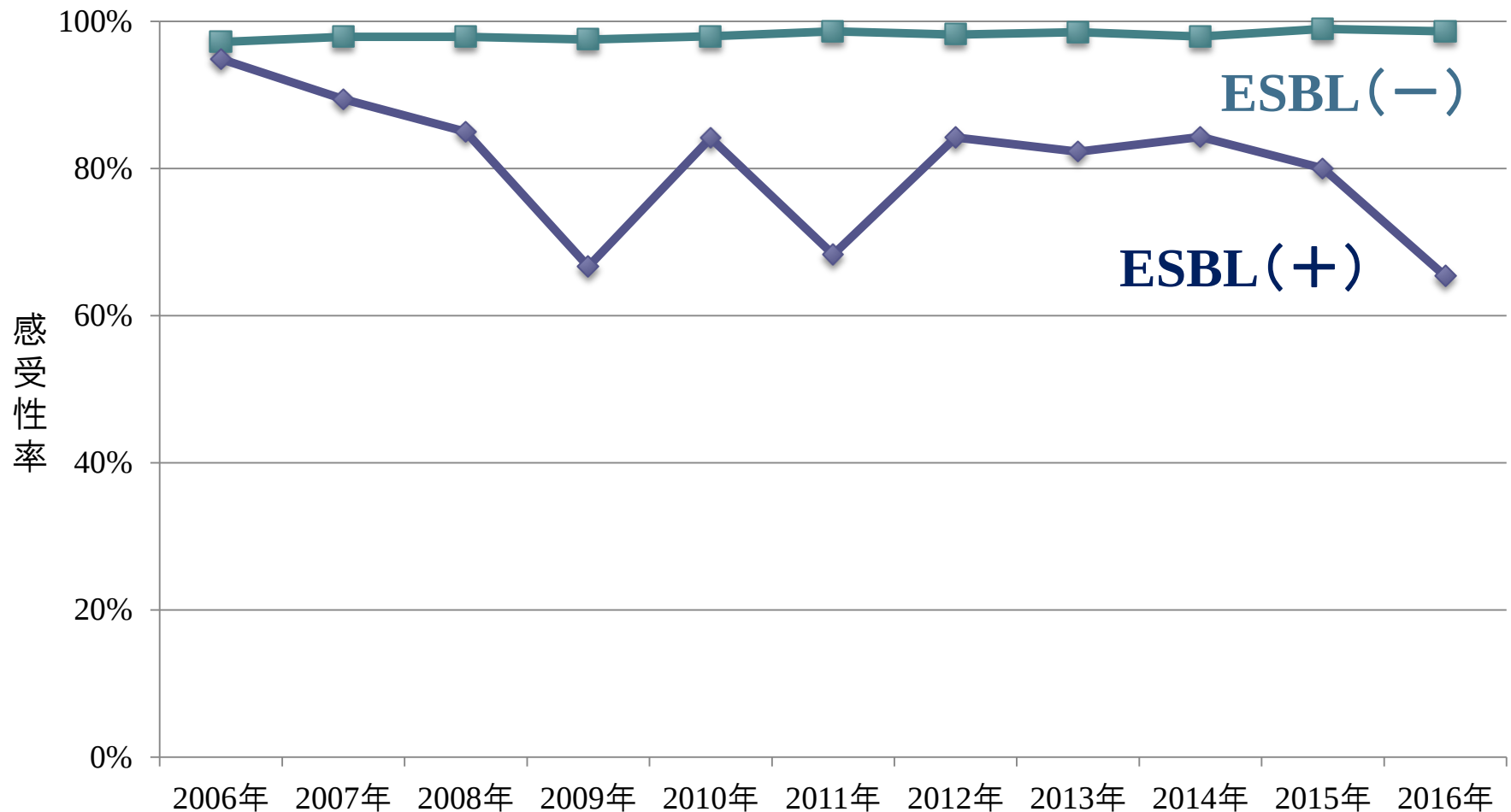
ESBL産生菌の検出率の比較 2016年



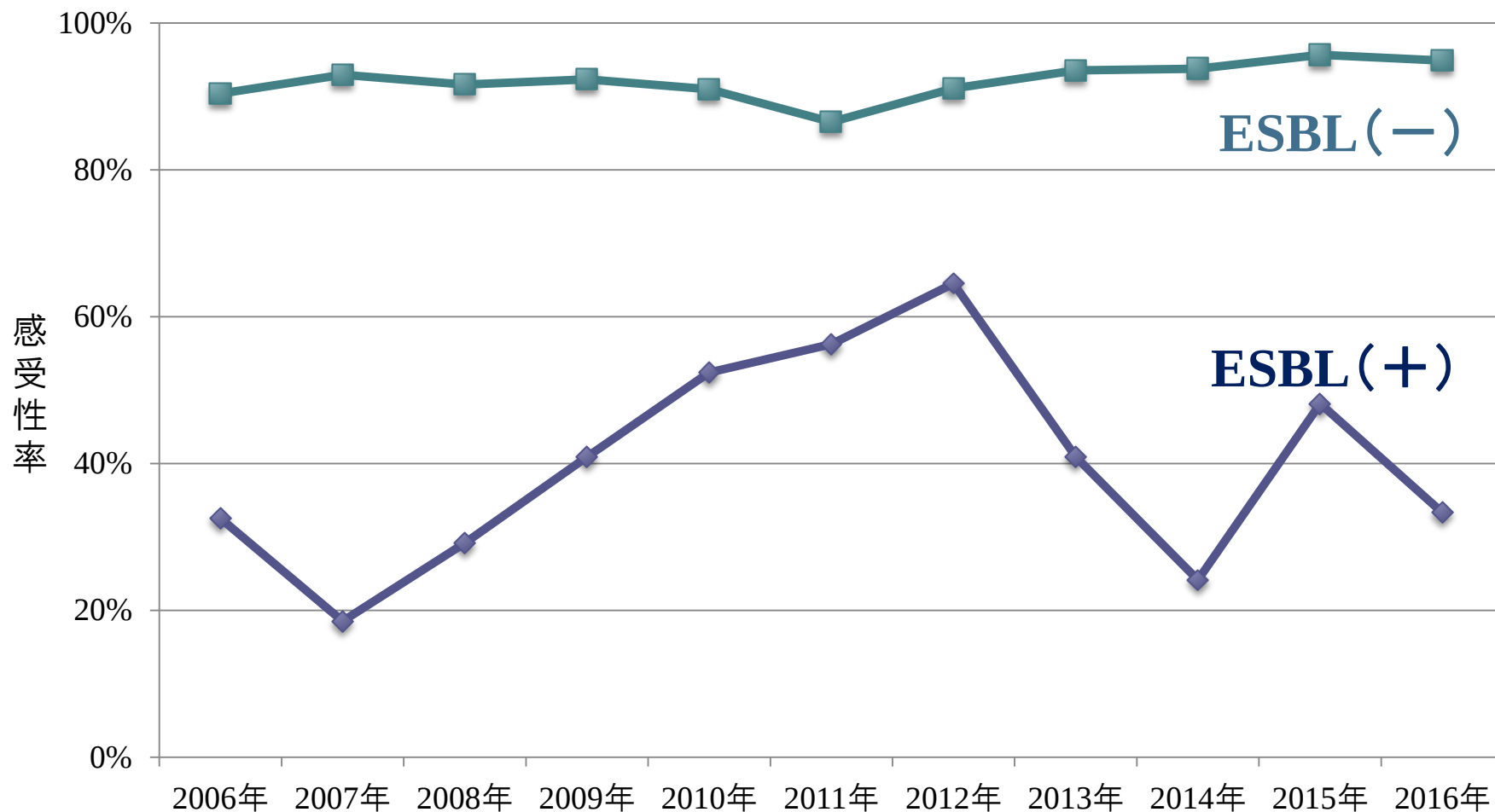
Escherichia coli のLVFX感受性率(加算1)



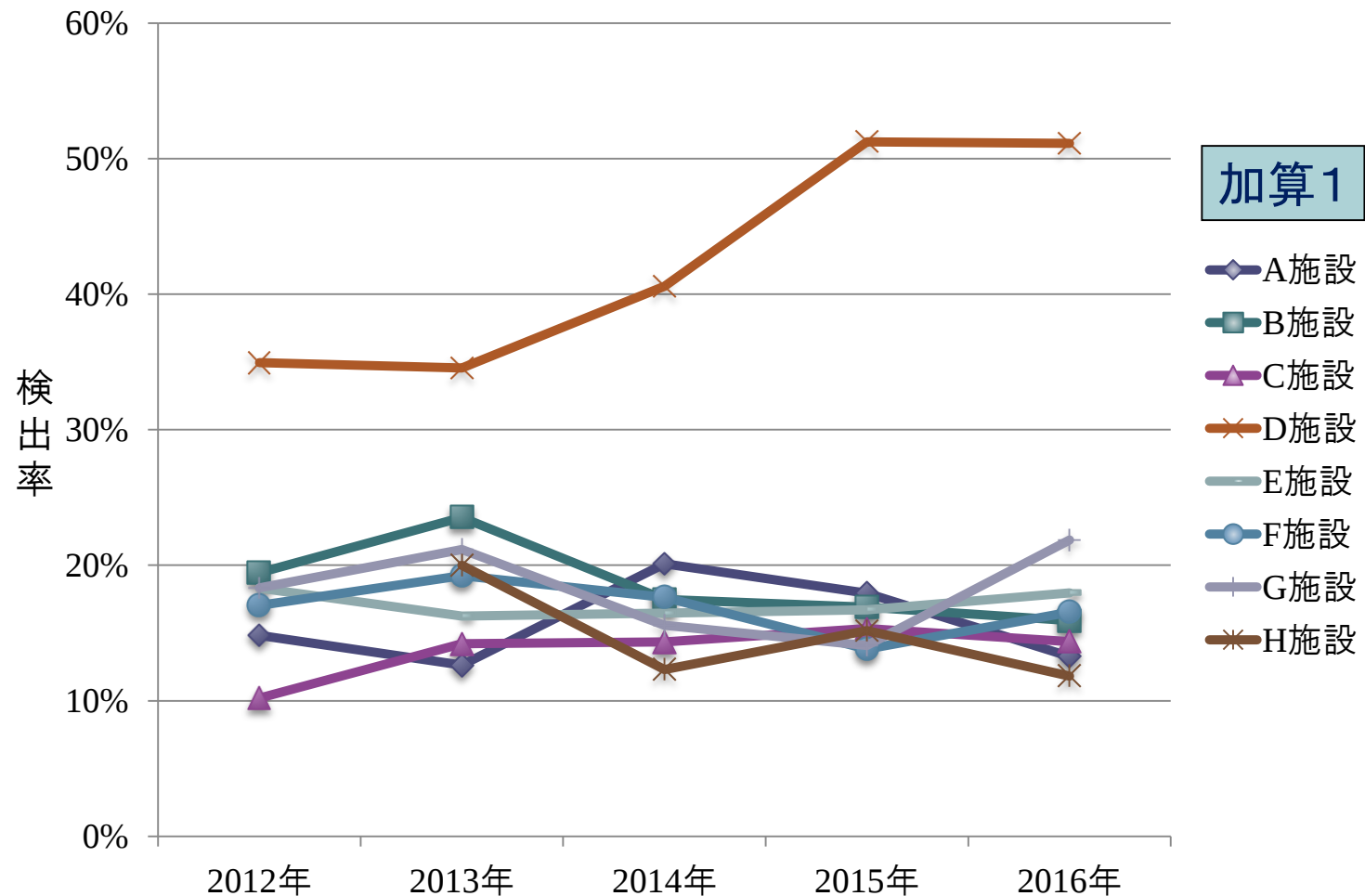
Klebsiella pneumoniae のLVFX感受性率(加算1)



Proteus mirabilis のLVFX感受性率(加算1)



ESBL産生*Escherichia coli*の検出率（施設別）



CREの検出状況

調査対象

期間

全施設：2016年1月～2016年12月の1年間

分離株

1患者1株として全患者（外来・入院）を対象

CREの定義

分離・同定による腸内細菌科細菌の検出、かつ、次のいずれかによるカルバペネム系薬剤及び広域β-ラクタム剤に対する耐性

1. メロペネムのM I C値が2 µg/ml以上であること、又はメロペネムの感受性ディスク(K B)の阻止円の直径が2.2 mm以下である
2. 次のいずれにも該当する
 - A) イミペネムのM I C値が2 µg/ml以上であること、又はイミペネムの感受性ディスク(K B)の阻止円の直径が2.2 mm以下である
 - B) セフメタゾールのM I C値が6.4 µg/ml以上であること、又はセフメタゾールの感受性ディスク(K B)の阻止円の直径が1.2 mm以下である

CREの検出件数(加算1)

菌種	総件数	施設							
		A	B	C	D	E	F	G	H
<i>Escherichia coli</i>	0								
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2			2					
<i>Serratia marcescens</i>	2	1	1						
<i>Enterobacter</i> spp.	30	3	25					1	1

材料別	件数
呼吸器	19
泌尿生殖器	7
消化器	2
膿	2
血液	4

特定菌種の薬剤感受性率

- *Pseudomonas aeruginosa*
- *Acinetobacter* spp.
- *Haemophilus influenzae*
- *Streptococcus pneumoniae*

調査対象 *Pseudomonas aeruginosa*

期間

加算 1 : 2012年1月～2016年12月の5年間

加算 2 : 2014年1月～2016年12月の3年間

分離株

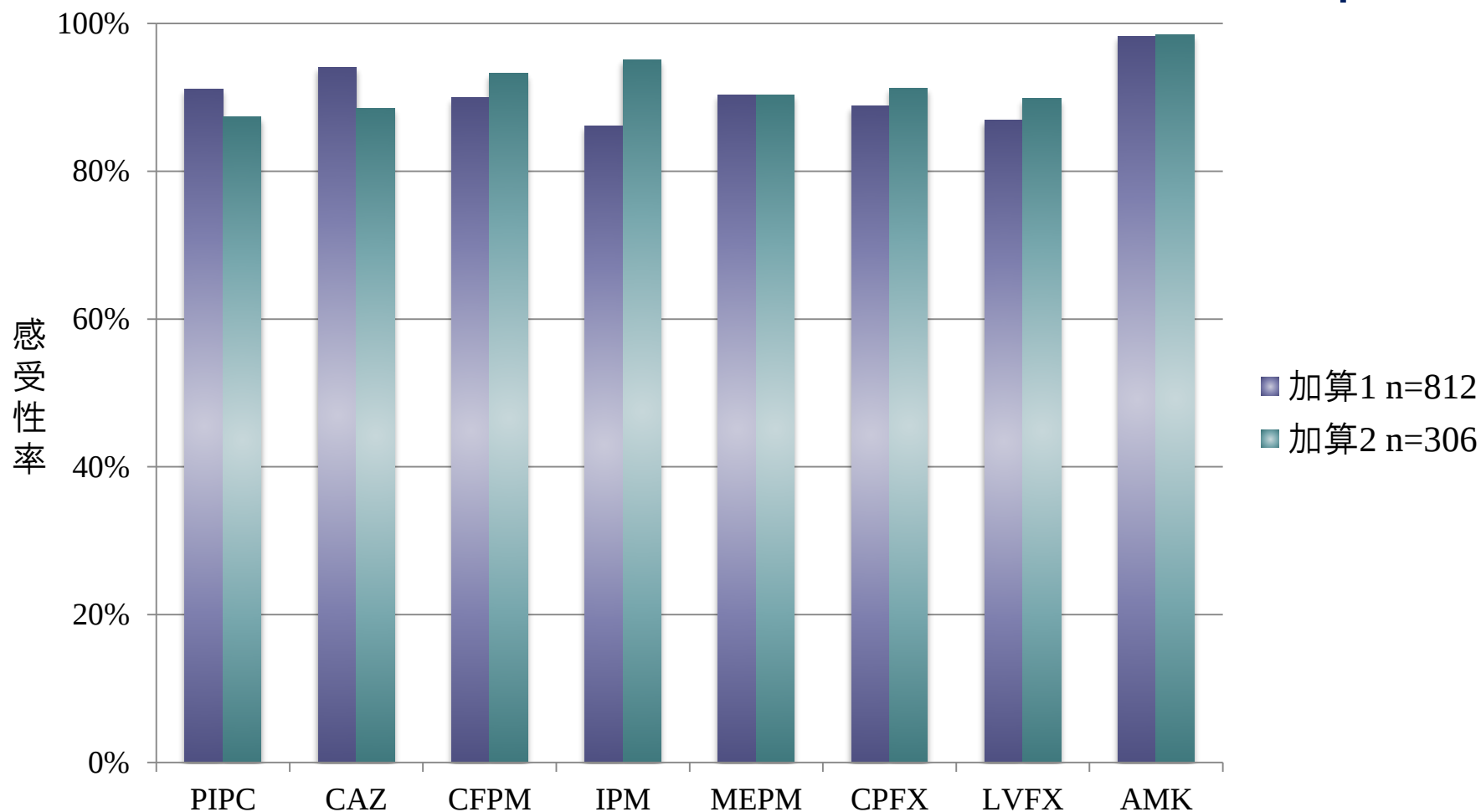
1患者1株として入院患者のみを対象

薬剤

PIPC、CAZ、CFPM、MEPM、LVFX、AMK

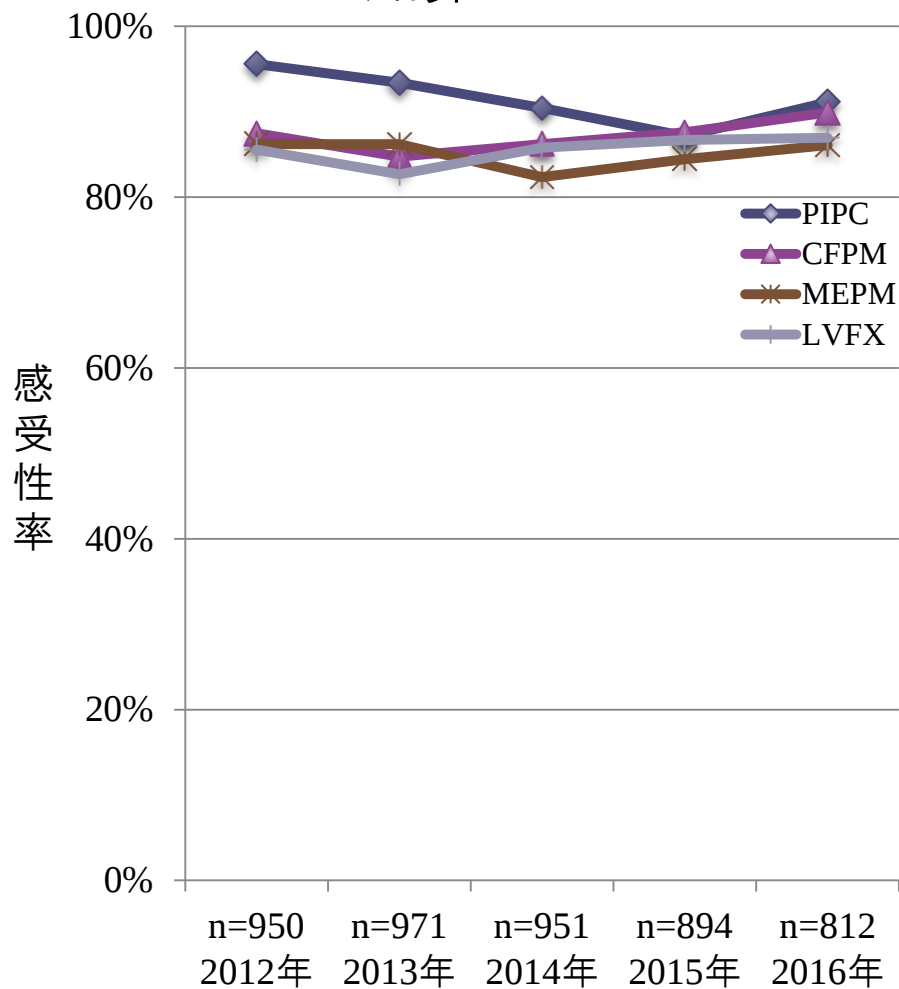
感受性率 *Pseudomonas aeruginosa*

2016年

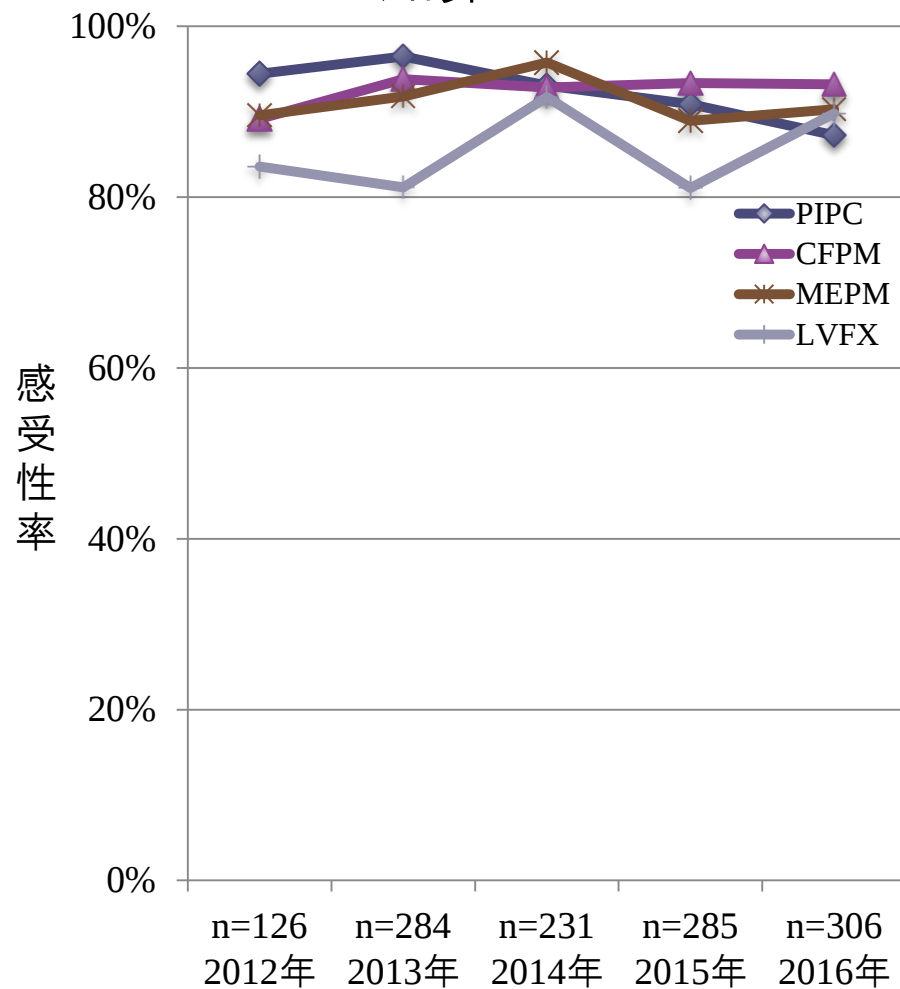


Pseudomonas aeruginosa 感受性率の年次推移

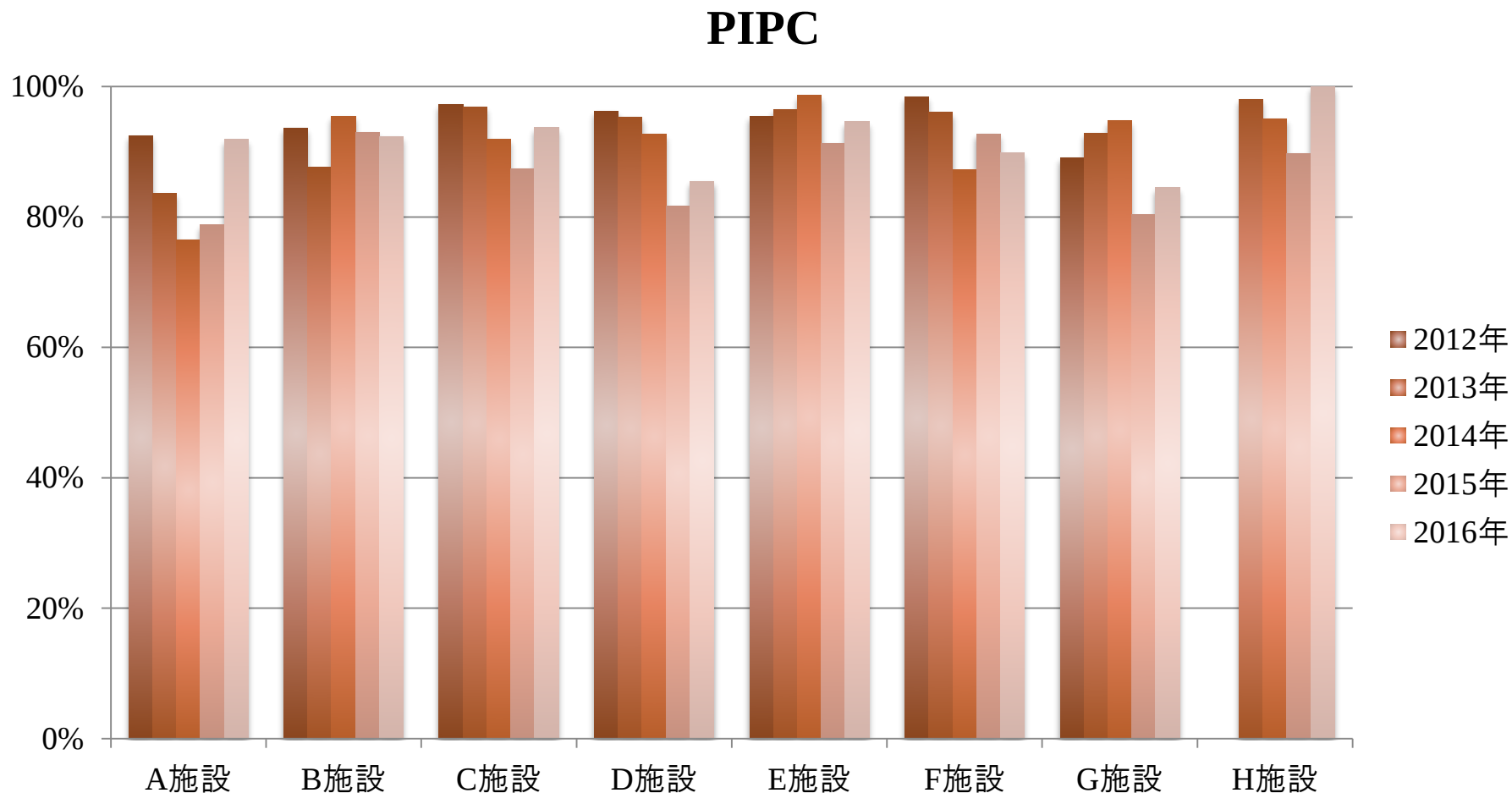
加算 1



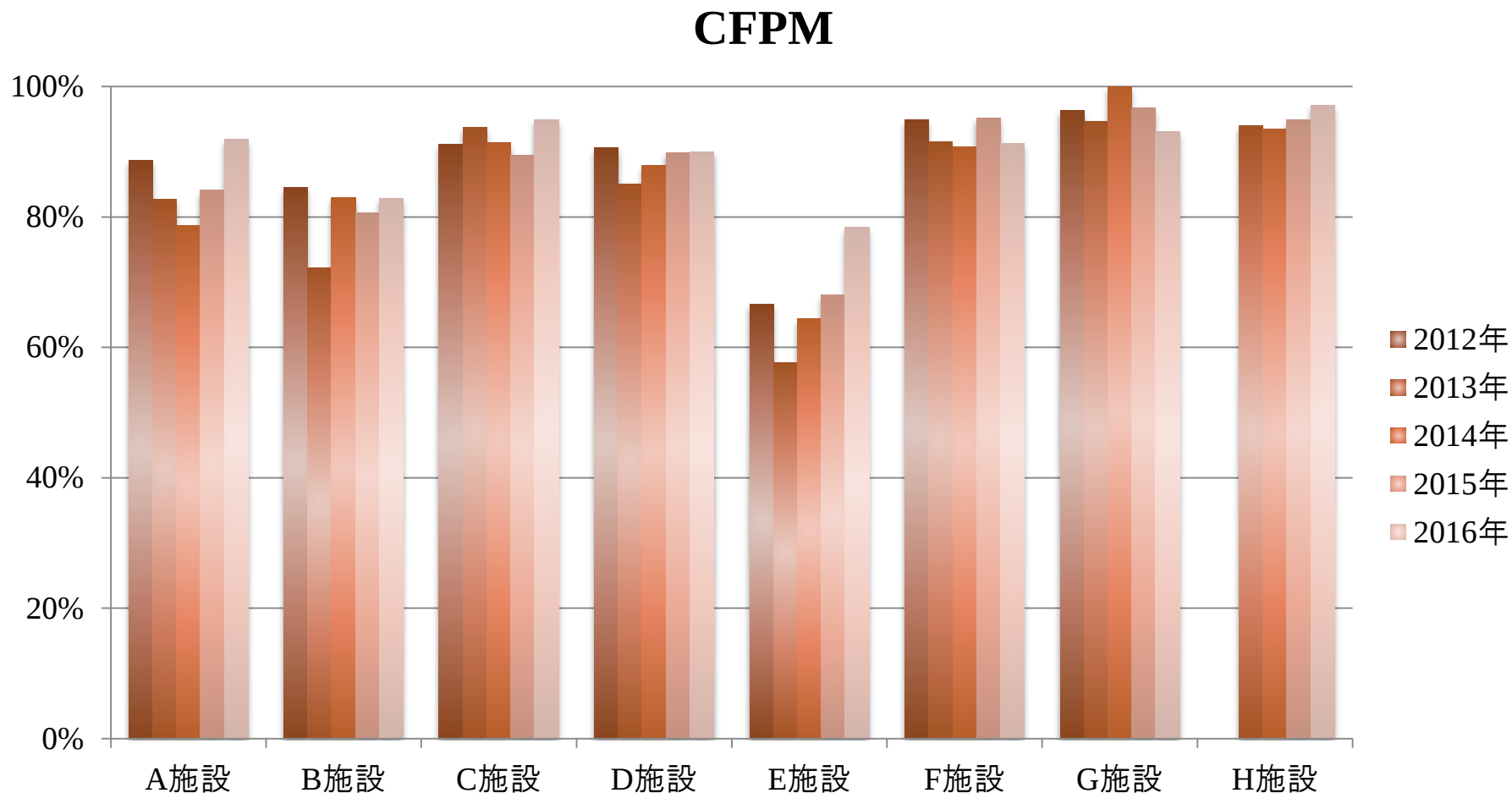
加算 2



施設別感受性率(加算1) *Pseudomonas aeruginosa*

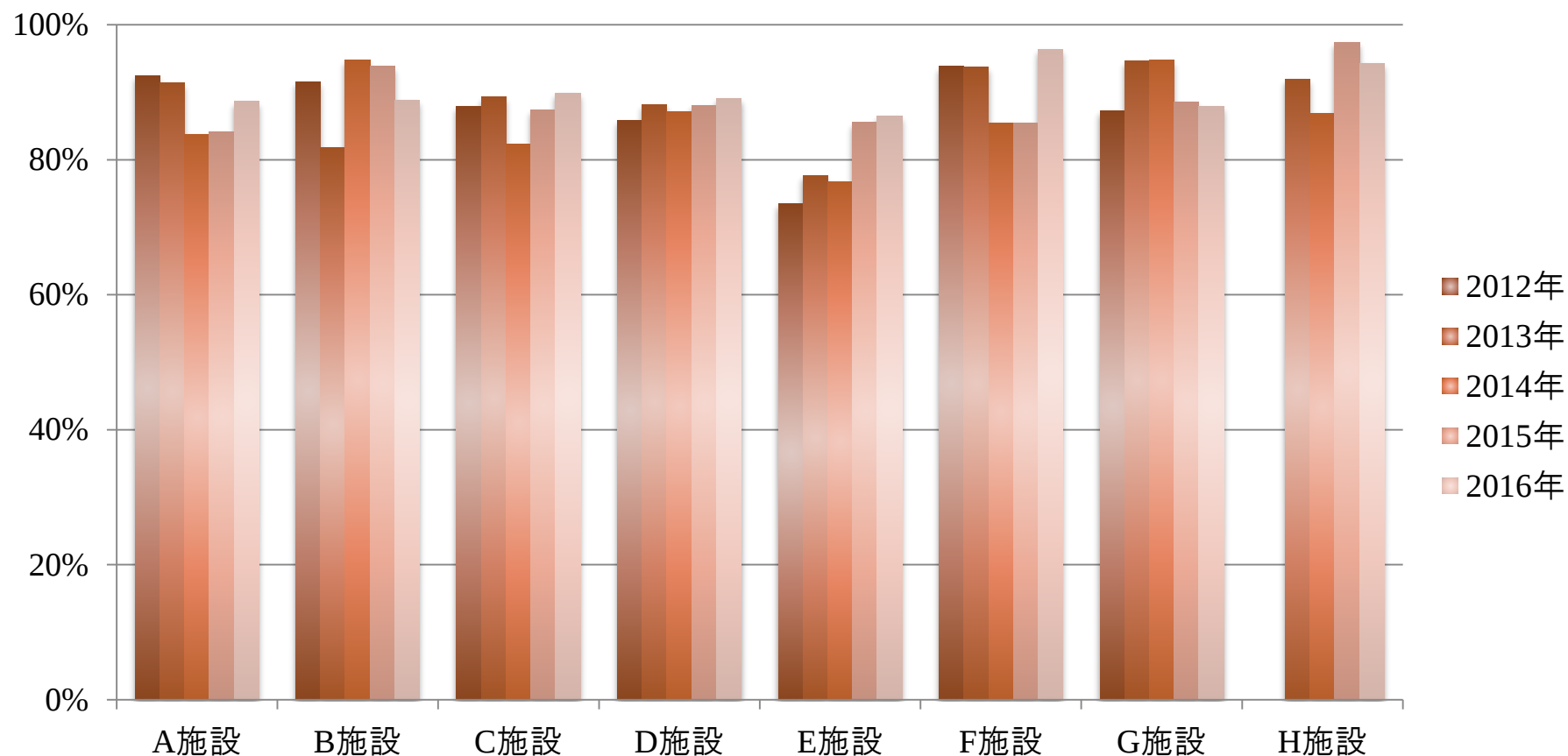


施設別感受性率(加算1) *Pseudomonas aeruginosa*



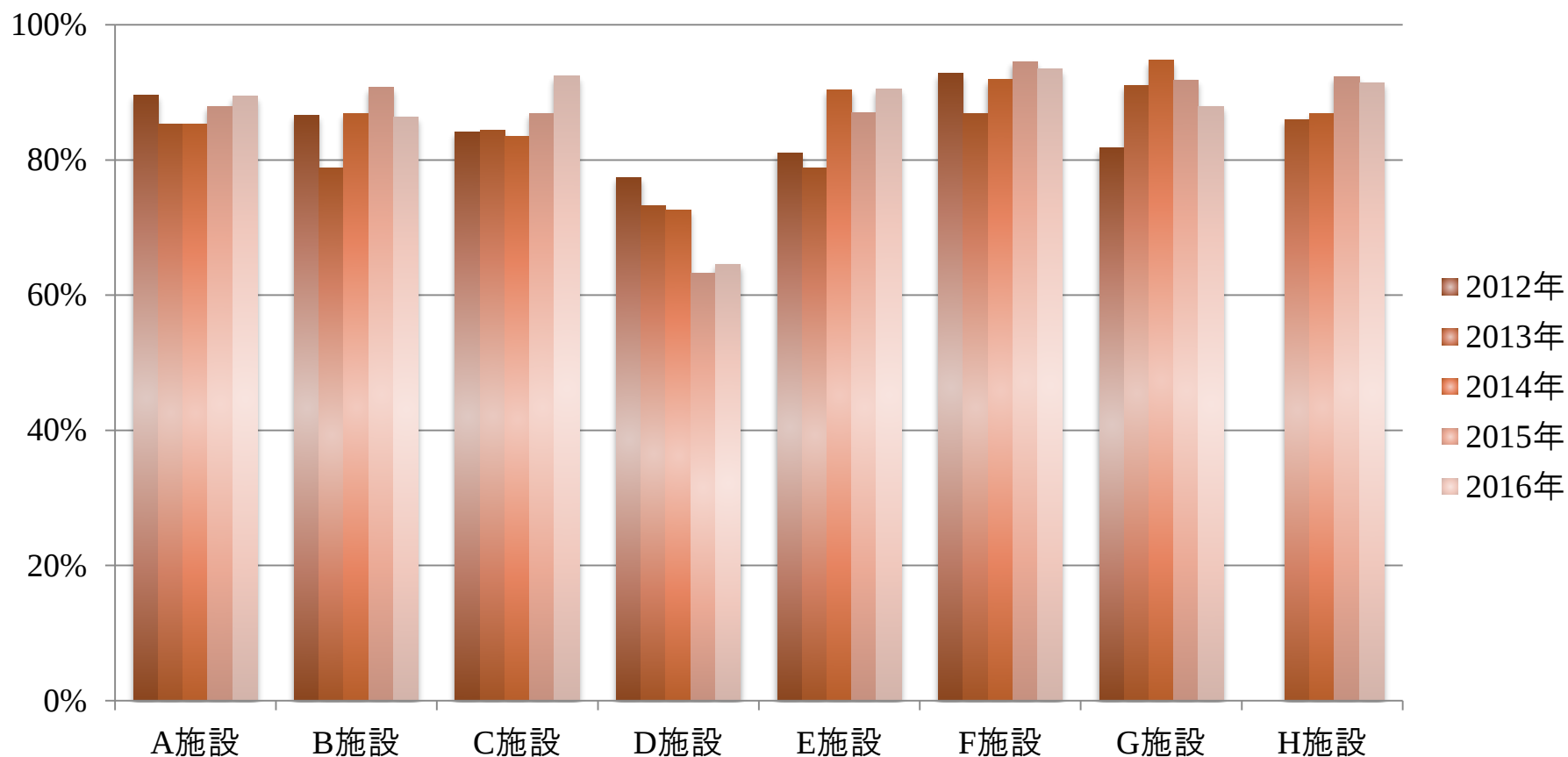
施設別感受性率(加算1) *Pseudomonas aeruginosa*

MEPM



施設別感受性率(加算1) *Pseudomonas aeruginosa*

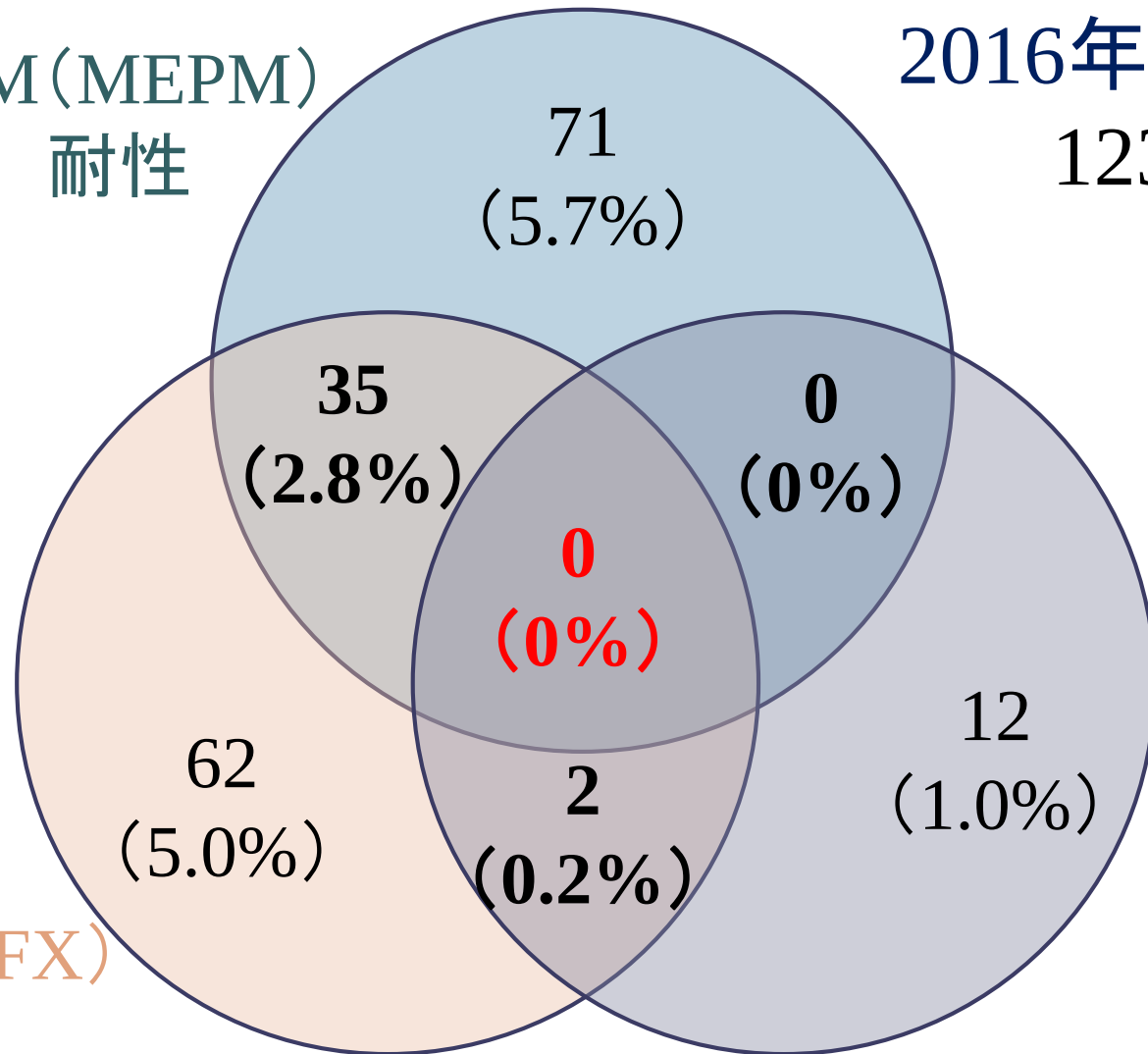
LVFX



Pseudomonas aeruginosa の耐性化傾向

IPM (MEPM)
耐性

2016年(加算1)
1236株



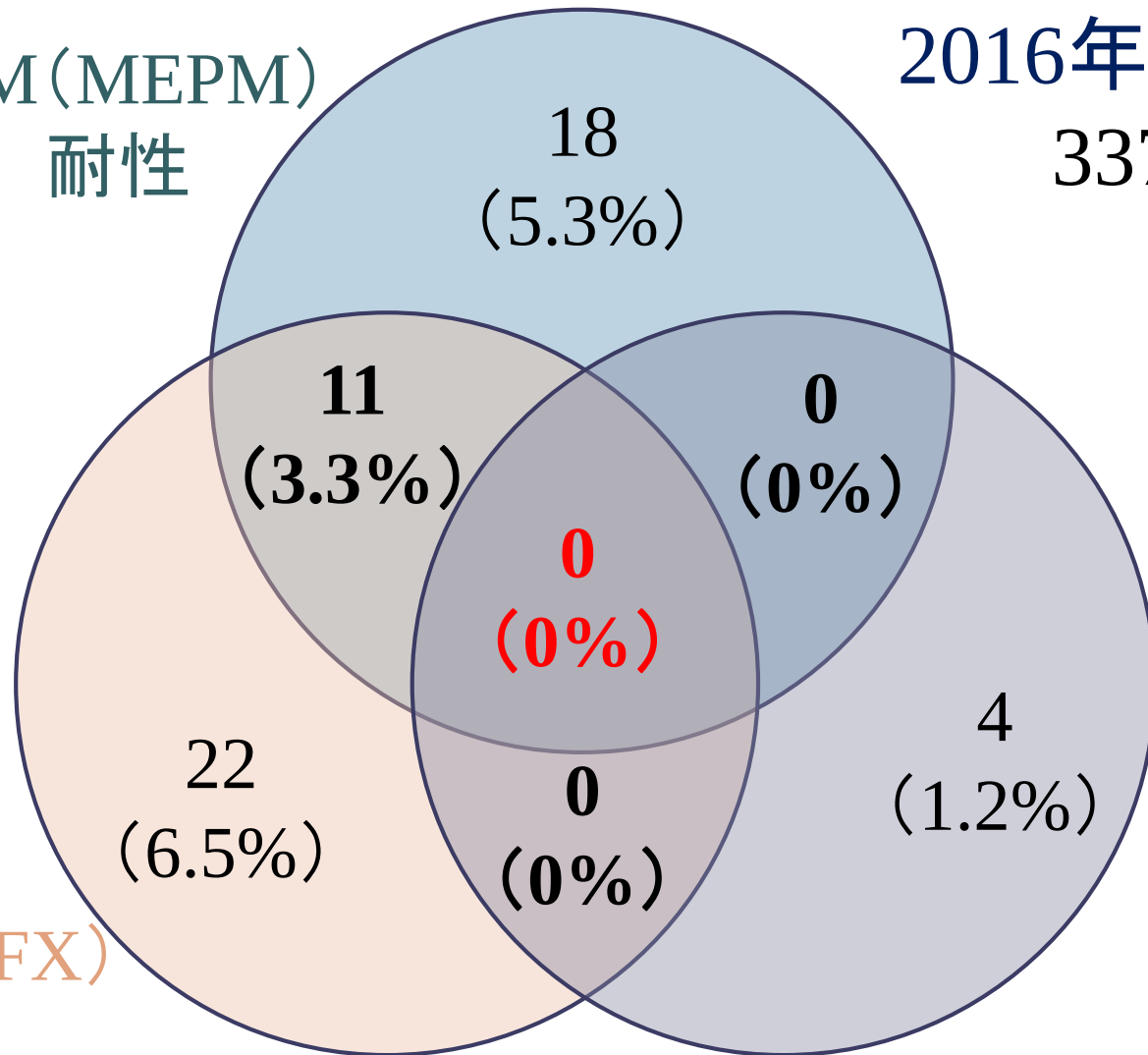
CPIX (LVFX)
耐性

AMK耐性

Pseudomonas aeruginosa の耐性化傾向

IPM (MEPM)
耐性

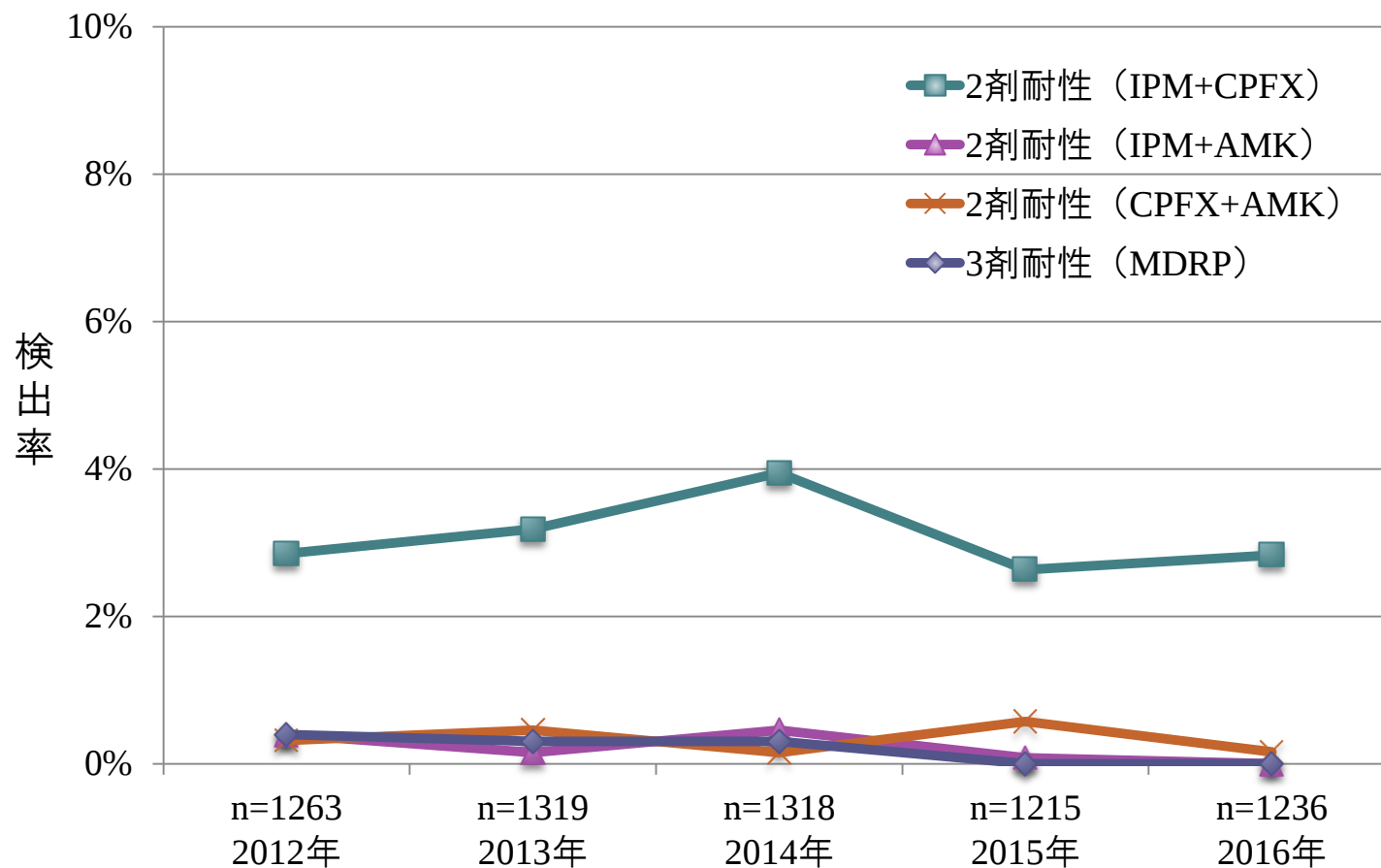
2016年(加算2)
337株



CPFX (LVFX)
耐性

AMK耐性

Pseudomonas aeruginosa の2剤・3剤耐性(加算1)



調査対象 *Acinetobacter* spp.

期間

加算 1 : 2012年1月～2016年12月の5年間

加算 2 : 2014年1月～2016年12月の3年間

分離株

1患者1株として入院患者のみを対象

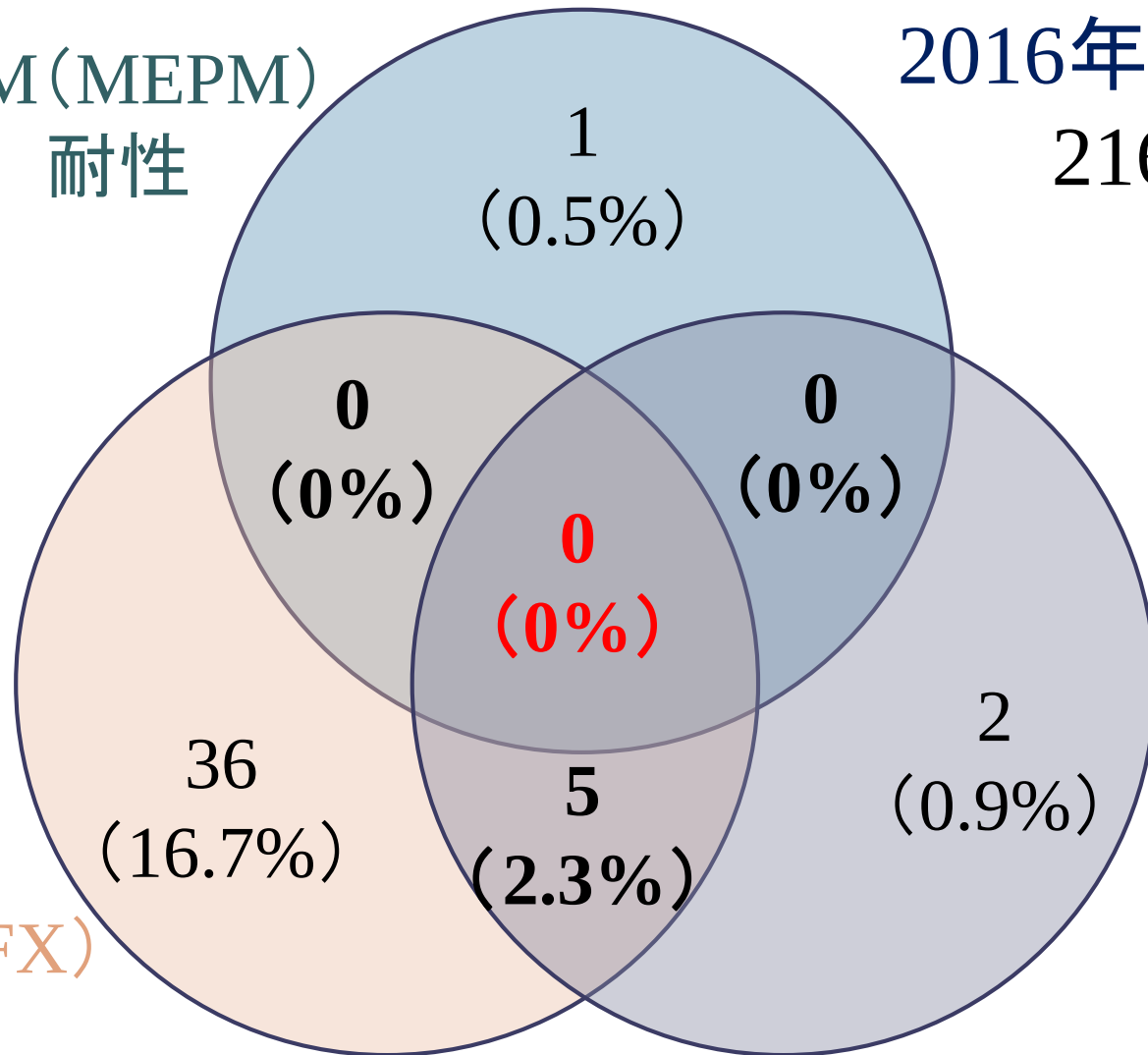
薬剤

PIPC、CAZ、CFPM、MEPM、LVFX、AMK

Acinetobacter spp. の耐性化傾向

IPM (MEPM)
耐性

2016年(加算1)
216株



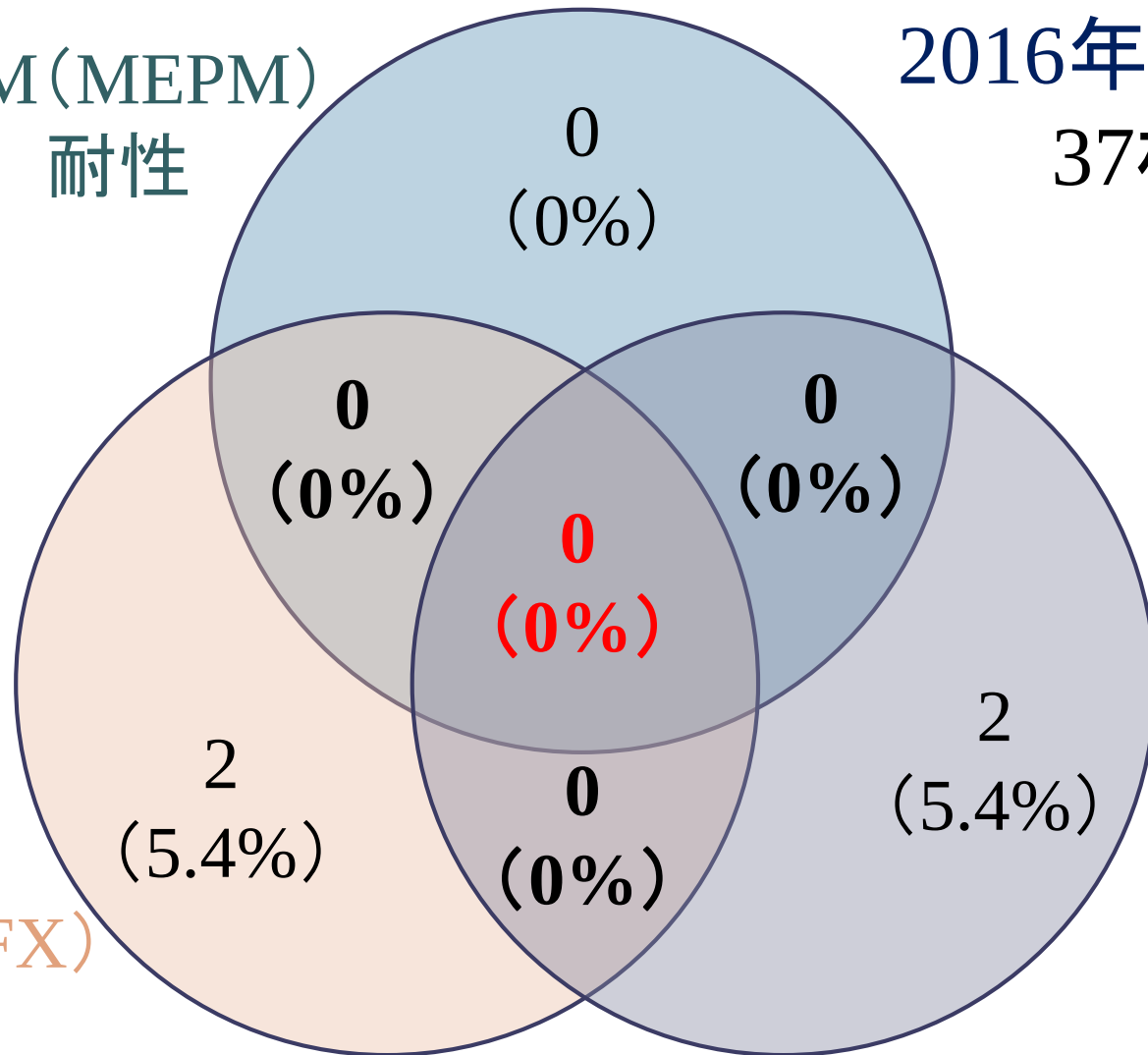
AMK耐性

CPFX (LVFX)
耐性

Acinetobacter spp. の耐性化傾向

IPM (MEPM)
耐性

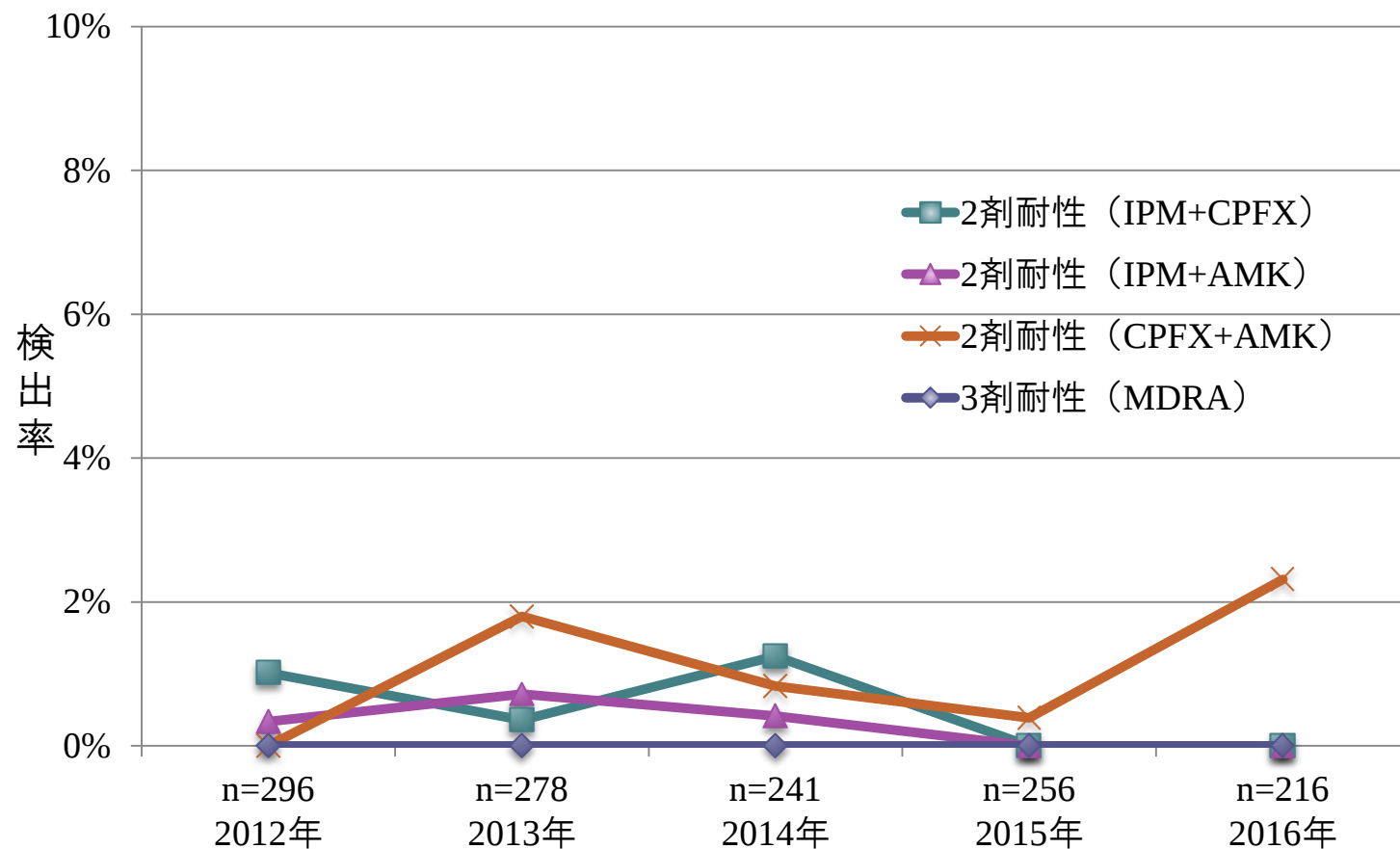
2016年(加算2)
37株



AMK耐性

CFX (LVFX)
耐性

Acinetobacter spp. の2剤・3剤耐性(加算1)



調査対象 *Haemophilus influenzae*

期間

加算 1 : 2012年1月～2016年12月の5年間

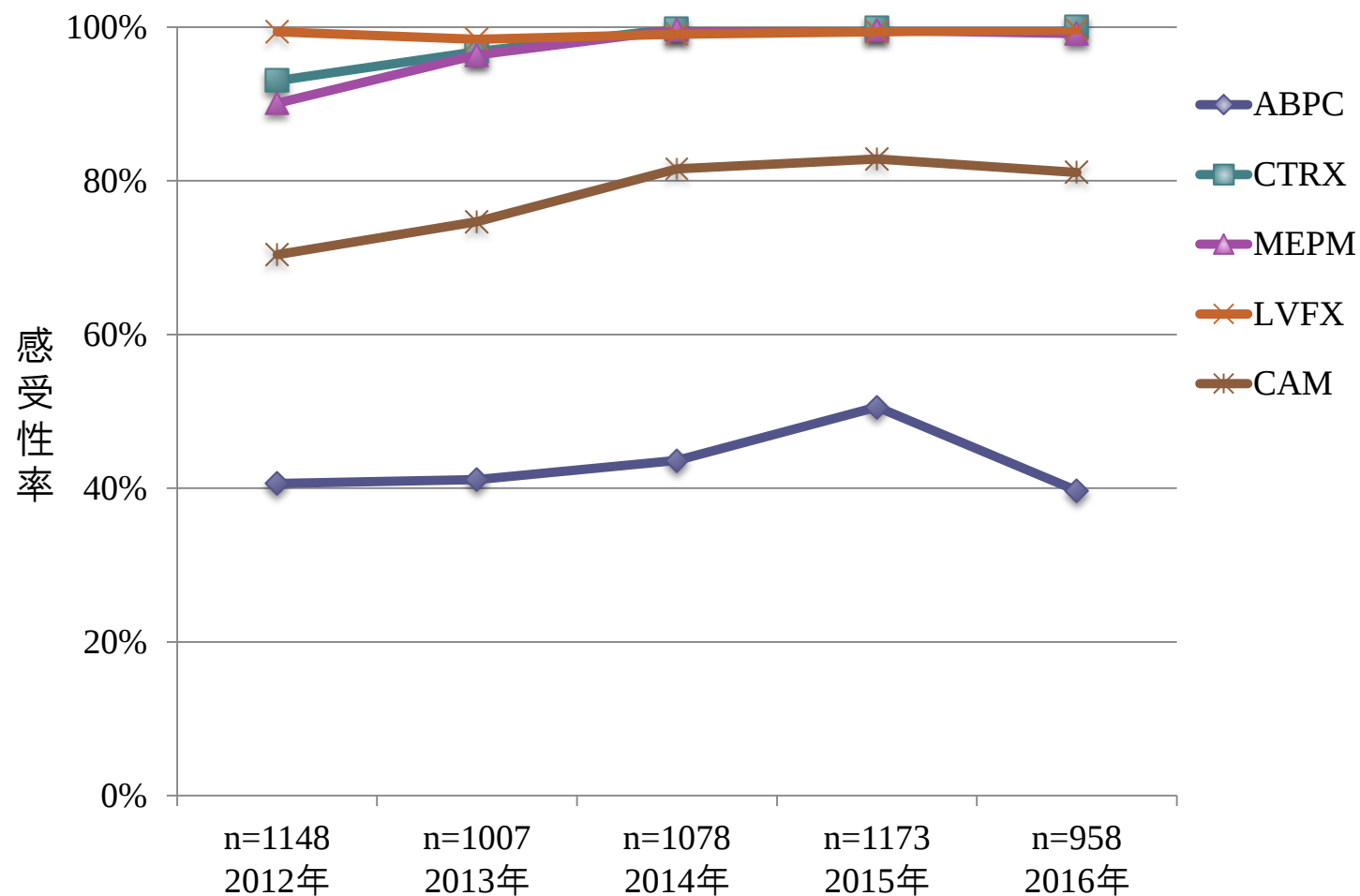
分離株

1患者1株として全患者（外来・入院）を対象

薬剤

ABPC、CTRX、MEPM、LVFX、CAM

感受性率の年次推移(加算1) *Haemophilus influenzae*



調査対象 *Streptococcus pneumoniae*

期間

加算 1 : 2012年1月～2016年12月の5年間

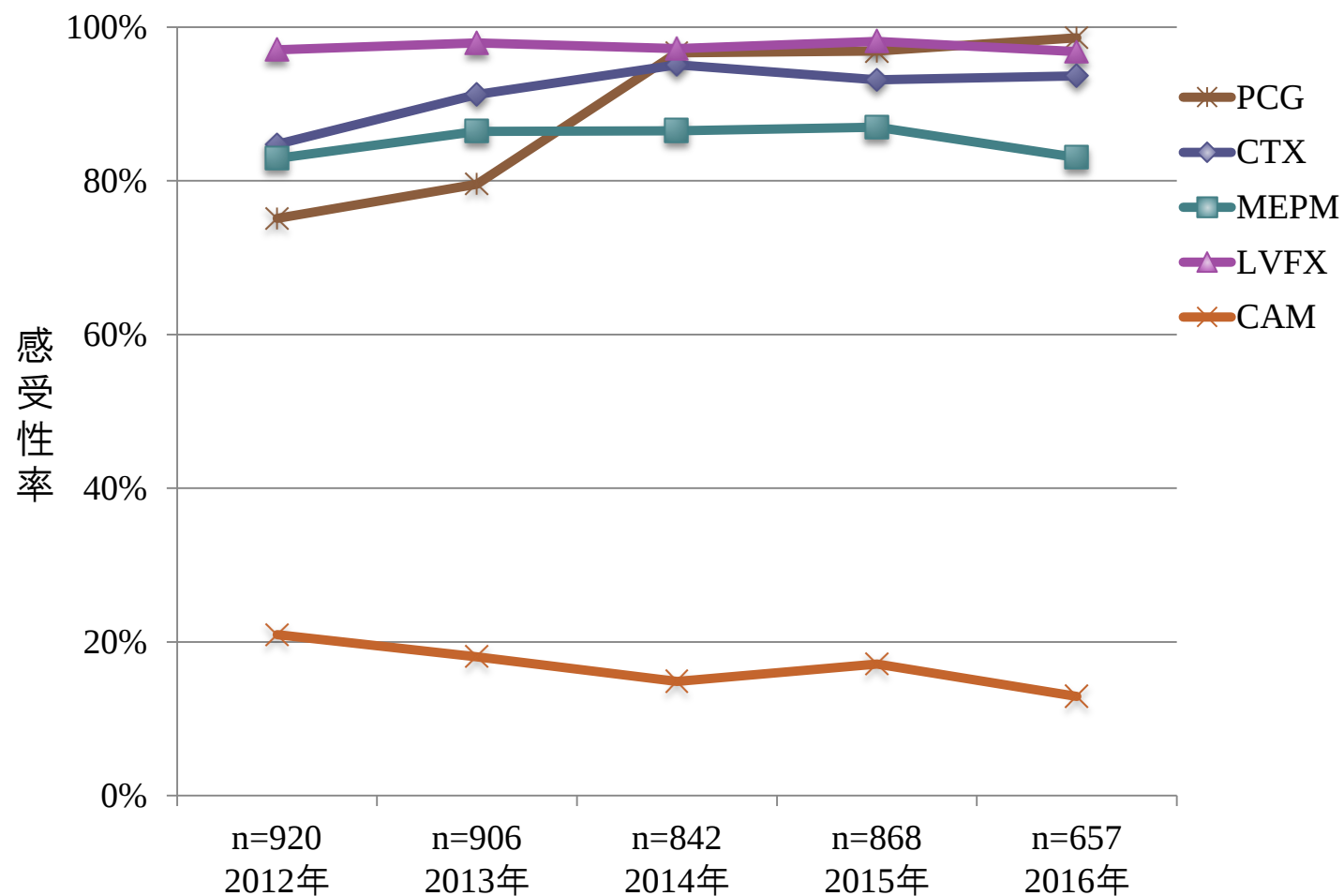
分離株

1患者1株として全患者（外来・入院）を対象

薬剤

PCG、CTX、MEPM、LVFX、CAM

感受性率の年次推移(加算1) *Streptococcus pneumoniae*



問い合わせ

浜松医科大学医学部附属病院 感染対策室

〒431-3192

静岡県浜松市東区半田山1-20-1

電話：053-435-2799